2024 年度

# 教 養 教 育 履 修 要 項

| | | |
|---|---|---|
| 医 学 部 | 薬 学 部 | 経 済 学 部 |
| 人文社会学部 | 芸術工学部 | 看 護 学 部 |
| 総合生命理学部 | | |

名古屋市立大学
NAGOYA CITY UNIVERSITY

# は じ め に

この履修要項は、本学の教養教育の目的・目標、学部ごとのカリキュラムや履修方法など教養教育科目を履修するための重要な情報を掲載しています。

不明な点があれば、 教務企画室（滝子キャンパス１号館１階）に問い合わせてください。

なお、この履修要項のほか、各学部「専門科目履修要項」、「学生生活のてびき」をあわせて参照してください。

**クラス記号について**

| | | |
|---|---|---|
| 薬　学　部 | 薬学科 | P1 |
| | 生命薬科学科 | P2 |
| 医　学　部 | 医学科 | M1・2 |
| 経 済 学 部 | | E1・2・3・4 |
| 人文社会学部 | 心理教育学科 | H1 |
| | 現代社会学科 | H2 |
| | 国際文化学科 | H3 |
| 芸術工学部 | 情報環境デザイン学科 | AT1 |
| | 産業イノベーションデザイン学科 | AT2 |
| | 建築都市デザイン学科 | AT3 |
| 看 護 学 部 | 看護学科 | N1・2・3 |
| 総合生命理学部 | 総合生命理学科 | S1 |

２０２４年度　教養教育履修要項　目　次

**名古屋市立大学の教養教育**
**１　教養教育の教育目標、教養教育カリキュラムのねらい** ･･････ 1
**２　2024年度教養教育学事日程** ･･････ 3

**３　教養教育科目の概要** ･･････ 5
**４　教養教育科目履修の手引き**
（１）教養教育科目における授業時間 ･･････ 7
（２）単位数の基準 ･･････ 7
（３）授業科目等の説明 ･･････ 7
ア　授業科目
イ　履修上の注意事項
（４）教養教育科目の履修にあたって ･･････ 8
ア　担当窓口
イ　シラバス（授業計画）の閲覧について
ウ　連絡、掲示
エ　欠席について
（５）科目履修の手続き ･･････ 9
ア　履修のながれ
イ　再履修・指定外履修
ウ　ＣＡＰ（キャップ）制について
エ　履修取消制度について
（６）ＧＰＡ制度について ･･････ 12
（７）試験及び成績 ･･････ 12
ア　期末試験
イ　期末試験の受験資格
ウ　追試験とその受験資格
エ　再試験とその受験資格
オ　成績の評価
カ　成績の通知
キ　成績疑問票
（８）試験における不正行為の絶対禁止について ･･････ 14
（９）単位認定制度について ･･････ 16
ア　既修得単位認定
イ　外国の他の大学又は短期大学における修得単位認定
ウ　英語検定試験による単位認定
エ　単位互換事業による単位認定（愛知学長懇話会、協定大学）
オ　ボランティア活動による単位認定（ボランティア科目）
(10) 聴講について ･･････ 19
(11) リメディアル教育について ･･････ 19

**５　教養教育カリキュラム**
（１）授業科目及び配当年次、単位数 ･････････････････････････････････････････････････････････ 20
（２）集中講義開講予定･････････････････････････････････････････････････････････････････････ 25
**６　教養教育科目における修得必要単位数及び進級要件**
（１）医学部 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････ 26
ア　修得必要単位数
イ　２年次への進級要件
（２）薬学部 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････ 27
ア　修得必要単位数
イ　２年次への進級要件
（３）経済学部 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････ 28
ア　修得必要単位数
イ　３年次への進級要件
（４）人文社会学部（心理教育学科・現代社会学科） ･････････････････････････････････････････ 29
ア　修得必要単位数
（５）人文社会学部（国際文化学科） ･････････････････････････････････････････････････････････ 30
ア　修得必要単位数
（６）芸術工学部 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････ 31
ア　修得必要単位数
イ　４年次への進級要件
（７）看護学部 ･････････････････････････････････････････････････････････････････････････････ 32
ア　修得必要単位数
イ　３年次への進級要件
（８）総合生命理学部･･････････････････････････････････････････････････････････････････････ 33
ア　修得必要単位数
イ　３年次への進級要件

**７　Self-Access Learning Opportunities**･････････････････････････････････････････････････ 34
**８　暴風警報発令時等の緊急時における授業・試験の対応について**･････････････････････････ 35
（１）暴風警報発令時等における授業・試験について
（２）公共交通機関運休時の対応について
（３）「南海トラフ地震に関する情報」が発表された場合における授業･試験等について
**９　教養教育科目 時間割** ･････････････････････････････････････････････････････････････ 37
**10　滝子（山の畑）キャンパス建物配置図**･････････････････････････････････････････････････ 47
**11　2号館（教養教育棟）／ 1号館・3号館・5号館　教室配置図**･････････････････････････････ 48
**12　学務情報システム（Live Campus U）について**
（１）個人設定及び履修登録について ･････････････････････････････････････････････････････････ 50
（２）個人別時間割表･･････････････････････････････････････････････････････････････････････ 54

# 名古屋市立大学の教養教育

高等教育院　院長　髙石　鉄雄

大学教育の使命は高度な専門能力をもった職業人を養成すること、さらには、あらゆる視点からものごとを深く捉え、社会をより良い方向に導く教養豊かな人間を育成することにあります。この後者を主に担っているのが教養教育です。21 世紀社会はますます複雑になり予測が難しくなります。特定領域の専門的な知識だけでは、これからの社会を生き抜くことはできません。自分の専門分野以外の知の拠点をより多く持つことが 21 世紀人に求められています。また、人生 100 年時代に向けて議論が進められているいま、職業人としてのみならず一人の人として心豊かな人生を送る上でも教養は不可欠といえます。その礎を築くため、教養教育では、学びの本質、自己管理の基本、コミュニケーションやプレゼンテーションの基本、自分の将来を描く力なども同時に学びます。

学生のみなさんは自身の専門分野だけでなく、自身がどのように生きるか、教養とは何かなども深く考えながら、教養教育で積極的、主体的に学修を進めてください。

## 名古屋市立大学の教養教育の主な特徴

### ◇　大学特色科目

〈全学部・研究科を結集した教養教育体制〉

「大学特色科目」の中には、初年次教育科目と地域特色科目が含まれます。

初年次教育科目は①「ＮＣＵラーニング・コンパス」、②「キャリアデザイン」科目、③「ヘルシーライフ」、④「ＳＤＧｓを考える」から構成されています。①では大学での学びの本質（キーコンピテンシー）を、②ではキャリア形成に向けた大学時代の過ごし方を、③ではより良く生きるための自己管理・身体管理の方法を、④では、研究すなわち諸分野における課題解決の取り組みの意義や醍醐味、能動的学びの姿勢を学びます。初年次教育科目でしっかり学び大学生活を円滑にスタートさせると同時に、名市大生としての自覚も育んでください。

地域特色科目では名古屋という地域の特色を学び、大学での学修と研究と地域との連関、地域で生きることの意味について考えます。

### ◇　多様な知の準拠点を作る一般教養科目

〈各学部の専門家教員による多彩な授業〉

「大学特色科目」以外の一般教養科目は、高い専門研究能力をもった本学の教員が中心となり、専門外の学生のみなさんにもわかりやすい形で現代人に必要なさまざまな教養を講義します。アクティブラーニングや双方向型授業も導入されていますので、学生のみなさんの積極的な学修が求められます。教養教育科目では、企業人、弁護士、弁理士、編集者、行政経験者（名古屋市役所 OB の特任教授）、名古屋市環境科学調査センター研究員などの実務経験者が現場の知を語る講義科目を設置しています。複雑な現代社会を生き抜くため、実社会の中で構築された知を学修してください。

またプロ棋士による授業を通して日本文化への理解を深めると同時に戦略的思考を学修する科目も設置しています。

### ◇　特色ある英語教育

〈学生のニーズ、興味、能力に合わせて選択できる多様な科目の提供〉

英語の力は近年ますます社会から求められています。本学では、高校までの英語教育に加えて、「聞く」「話す」力を育成して英語による実践的なコミュニケーション力を高めるため、すべて英語によるレクチャー・ディスカッション形式や少人数ゼミ形式など、目的・内容・方法論を特化した多様な科目を提供し、学生は興味、能力に合わせて、選択し、学ぶことができます。

### ◇　その他の言語の学修

〈その他の言語学修を通じて他文化への視点を学ぶ〉

グローバル化が進む現代社会では他文化への豊かな視点が求められます。教養教育では英語以外に、ドイツ語、フランス語、中国語などの１０言語の中から選択し、学ぶことができます。これらの言語の基礎を学び多様な文化への豊かな視点を獲得してください。また「中国短期語学研修」「フランス短期語学研修」では、中国、フランスの大学に 2 週間程度滞在し、集中的に外国語を学修するとともに、現地の学生と交流し、その地の文化、社会を学ぶことを目指します。

### ◇　理数系の基礎学力を向上させる

〈基礎科目とリメディアル教育科目〉

物理学、化学、生物学、数学・統計学などは、あらゆる理科系学問分野において学修の基礎となります。教養教育では、これらの学力が必要になる学部学生のための「基礎科目」を設置し、あわせて高校での未履修科目を補うため「リメディアル教育科目」を設置しています。

### ◇　教室だけでなく学外へ出て学ぶ

〈実地の調査、体験を重視する社会連携教育科目、実習科目を配置〉

教養教育では、教室で学ぶだけでなく、郊外の丘陵地、東山動植物園、名古屋港水族館、名古屋市科学館など、学外に出て、実地の調査、研究、実習を行なう科目を設置しています。また、「医薬看連携地域参加型学習」は、これらの三学部の学生が医療人の基本的な技能、地域のニーズ、チームワーク力などについて学ぶもので、地域参加型の学習科目になっています。また、「ボランティア科目」を設置し、ボランティア活動を単位認定しています。

### ◇　教育の質保証

〈教育課程の改革や授業技法の向上に取組んで教育の質を向上させる〉

名古屋市立大学では、よりよいカリキュラム（教育課程）の構築を目指して継続的な改革を行ない、また、すぐれた授業技法を有する教員のノウハウを全学で共有すべく「研究授業」や「教育改革フォーラム」を実施するなど、教育の質保証に力を入れています。

# 1　教養教育の教育目標、教養教育カリキュラムのねらい

## 教養教育の教育目標

1　教養教育では、学生が社会の一員としての自己のあり方を認識し、自らよりよく生きる生き方を探求し、あわせて社会全体の幸福の実現にむけて貢献できるような人間形成をはかるとともに、専門教育への確かな土台を築くことを目標とする。

2　大学が目標に掲げる〈持続可能な共生社会〉〈健康と福祉の向上〉〈次世代育成支援〉〈地球環境の保全と社会環境の整備発展〉の実現に寄与する科目を修得させることによって、地域社会および国際社会に貢献することができる人材を育成する。

## 教養教育カリキュラムのねらい

1　教養教育は、全学部の学生を対象に全学教養教育として実施し、共通科目の「一般教養科目」「語学科目」「情報科目」「健康・スポーツ科目」「ボランティア科目」と、基礎科目の「物理学」「化学」「生物学」「自然科学実験」「数学・統計学」「地域参加型学習」「早期体験学習」「看護基礎」から構成する。これらの科目の学修を通して、専門分野の枠を超えて一人の個人として生きていく能力を身につけさせるとともに、専門科目学修の基礎になる学力や学修技法を修得させる。

2　一般教養科目は、「大学特色科目」「現代社会の諸相」「文化と人間性の探求」「人間と自然」「自然と数理の探求」の５区分で構成する。「大学特色科目」は、初年次教育科目と地域特色科目を大きな柱として構成される。初年次教育科目では総合大学の教育力を結集し、1 年生に大学生、大人としての自覚と社会人としての備えを促す教育を行うことで、将来の活躍につながる能動的な大学生活を送らせるための動機づけを行う。地域特色科目では名古屋という地域の特色を学ばせ、地域と大学での学修と研究の連関について考えさせる。「現代社会の諸相」では現代の日本社会・国際社会の特質や諸課題について学修させ、「文化と人間性の探求」では異文化・自文化を理解させ、人間性への確かな洞察力を養う。この二者では、文系学生のみならず理系学生にも平易に関連学問の成果について修得させる。

　また、「人間と自然」では人間の自然の関わり方の諸相と課題を学ばせ、「自然と数理の探求」では自然の法則を学修させて自然への基礎的な認識を深めさせる。この二者では、理系学生のみならず文系学生にも平易に自然科学の成果について修得させる。

3　語学科目では、総合的な語学能力を高めることを目指し、英語教育に関しては英語を母語とする教員を重点化してコミュニケーション能力の向上につとめる教育を行なう。

4　情報科目では、情報学の学修を通じて社会における先端情報技術を積極的に使いこなすための知識を身につけさせる。それにより，事象や氾濫する情報に適切に対応できる良識を身につけさせる。

5　健康・スポーツ科目では、健康や身体活動に関する科学的認識を深め、健康の維持増進や生活の質向上のための運動を実践する方法や習慣を身につけさせることを目標とし、講義、演習、実習を組み合わせて、学生の能動的な学修を重視した授業を展開する。

6　ボランティア科目では、日常的な、また災害時における学生のボランティア活動を積極的に推奨、支援するため、一定の活動時間数を目安に単位化を行なう。

7　自然科学（物理学、化学、生物学、自然科学実験）の科目では、自然科学の基礎知識と自然の観察・理解に必要な基礎技術の修得を目指した教養教育を実施する。自然への理解の深化を通じて、自然を愛し生命あるものを慈しむ豊かな人間性と、優れた論理的思考力に裏打ちされた知的好奇心を育むと共に、自然と共存して持続が可能な人間社会の構築に貢献できる人材を育成する。

8　数学・統計学では、基礎数学（微分積分学または線形代数学または統計学）の修得により自然法則並びに現代科学を理解する基礎を身につけさせる。それにより、物事を論理的に判断できる科学的教養人として、専門科目の学習に向けて前進できる人材育成の礎とする。

9　地域参加型学習、早期体験学習は、医薬看連携地域参加型学習においては、オリエンテーション、基本医療技能実習、早期臨床体験、および医薬看学生のチームによる地域ニーズの解決をテーマとする学習(地域参加型学習)からなり、医療人をめざす者が身につけるべき基本的な技能、態度と考え方、チームワーク能力、課題解決型学修能力を修得させる。地域連携参加型学習では地域が直面している課題や問題について、実際に地域に出かけ、地域の人々とともに考えることを通して、問題解決能力、コミュニケーション能力の習得を行う。また、生命薬科学研究入門においては、ＰＢＬ（問題解決型授業）を通して、論理的思考能力や創薬や医療に関する課題解決型学修能力を修得させるとともに、研究室訪問や学会体験を通して、最先端の研究および研究環境を体験させる。

10　看護基礎では、専門科目の内容を理解するための基盤として、生命現象の根幹である化学反応（生化学）の知識、ならびに、人間社会の基本的単位である家族の考え方を修得させる。

# 2024年度 教養教育学事日程　【前　期】

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 学事 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4月 | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1-2<br>3-4<br>5 | 合同ガイダンス・英語力調査<br>学部別ガイダンス（新入生）<br>入学式・新入生オリエンテーション |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 ①❶ | 13 | 5-11 | (1)教養教育科目のweb履修登録<br>（抽選対象科目及びその他科目） |
| | 14 | 15 ①❶ | 16 ①❶ | 17 ①❶ | 18 ①❶ | 19 ②❷ | 20 | 12 | 前期授業開始<br>前期前半授業開始 |
| | 21 | 22 ②❷ | 23 ②❷ | 24 ②❷ | 25 ②❷ | 26 ③❸ | 27 | 12-18 | (2)履修登録状況確認期間<br>英語検定試験による単位認定申請期間 |
| | 28 | 29 ③❸ | 30 ③❸ | | | | | 29 | 昭和の日【授業開講日】 |
| 5月 | | | | 1 ③❸ | 2 ③❸ | 3 | 4 | | |
| | 5 | 6 | 7 ④❹ | 8 ④❹ | 9 ④❹ | 10 ④❹ | 11 | 7-13 | 履修取消期間 |
| | 12 | 13 ④❹ | 14 ⑤❺ | 15 ⑤❺ | 16 ⑤❺ | 17 ⑤❺ | 18 | | |
| | 19 | 20 ⑤❺ | 21 ⑥❻ | 22 ⑥❻ | 23 ⑥❻ | 24 ⑥❻ | 25 | 20-24 | 補講期間1（5限） |
| | 26 | 27 ⑥❻ | 28 ⑦❼ | 29 ⑦❼ | 30 ⑦❼ | 31 ⑦❼ | | | |
| 6月 | | | | | | | 1 | | |
| | 2 | 3 ⑦❼ | 4 ⑧❽ | 5 ⑧❽ | 6 ⑧❽ | 7 ⑧❽ | 8 | | |
| | 9 | 10 ⑧❽ | 11 ⑨① | 12 ⑨① | 13 ⑨① | 14 ⑨① | 15 | 11 | 前期後半授業開始 |
| | 16 | 17 ⑨① | 18 ⑩② | 19 ⑩② | 20 ⑩② | 21 ⑩② | 22 | 17-21 | 補講期間2（5限） |
| | 23 | 24 ⑩② | 25 ⑪③ | 26 ⑪③ | 27 ⑪③ | 28 ⑪③ | 29 | | |
| | 30 | | | | | | | | |
| 7月 | | 1 ⑪③ | 2 ⑫④ | 3 ⑫④ | 4 ⑫④ | 5 ⑫④ | 6 | | |
| | 7 | 8 ⑫④ | 9 ⑬⑤ | 10 ⑬⑤ | 11 ⑬⑤ | 12 ⑬⑤ | 13 | 2-8 | 履修取消期間（後半科目） |
| | 14 | 15 ⑬⑤ | 16 ⑭⑥ | 17 ⑭⑥ | 18 ⑭⑥ | 19 ⑭⑥ | 20 | | |
| | 21 | 22 ⑭⑥ | 23 ⑮⑦ | 24 ⑮⑦ | 25 ⑮⑦ | 26 ⑮⑦ | 27 | 15<br>15-19 | 海の日【授業開講日】<br>補講期間3（5限） |
| | 28 | 29 ⑮⑦ | 30 ⑯⑧試 | 31 ⑯⑧試 | | | | 29<br>30-8/5 | 前期授業最終日<br>前期期末試験 |
| 8月 | | | | | 1 ⑯⑧試 | 2 ⑯⑧試 | 3 | 6-9/26 | 夏季休業期間（8/6～9/26） |
| | 4 | 5 ⑯⑧試 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 8 | 追試験願の提出期限 |
| | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 19<br>19-21 | 再試験・追試験受験許可者及び時間割発表<br>再試験受験　受付期間 |
| | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 19-23 | 集中講義予定期間（1） |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 28-30 | 前期追試験・再試験期間 |
| 9月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 2-6<br>9-13 | 集中講義予定期間（2）<br>集中講義予定期間（3） |
| | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 9 | 前期成績発表 |
| | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | | |
| | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 ①❶ | 28 | 27 | 後期授業開始<br>後期前半授業開始 |
| | 29 | 30 ①❶ | | | | | | 27-10/3 | (2)履修登録状況確認期間<br>英語検定試験による単位認定申請期間 |

**(1) 教養教育科目のWeb履修登録**
- 各学期の抽選対象科目の抽選登録
- 抽選対象科目以外の履修登録

〔前期〕
前期、後期、通年科目の履修登録
〔後期〕
後期科目の履修（修正）登録

**(2) 履修登録状況確認期間**
- Web登録した当学期科目の確認
  ※当選した科目は変更できません。
- 抽選の結果、定員に達しなかった科目の追加登録

9-13
(1)教養教育科目のWeb履修登録
（抽選対象科目及び
その他科目の履修登録）

は、学部等事務室業務を取り扱いません。〇は、講義開講日（数字は講義回数）です。

学期を〔前半〕〔後半〕に分けて開講する「英語科目（1単位）」は全8回で完結します。〔前半〕❶～❽回 〔後半〕①～⑧回

※国民の祝日に関する法律に規定する休日は学則で休業日とされていますが、前期授業回数確保のため4月29日（月）と7月15日（月）を授業開講日とします。

※夏季休業期間は学則で9月30日までとされていますが、後期授業回数確保のため、9月27日（金）より授業を開始します。

※ 専門教育の学事日程は本表と異なる場合がありますので注意してください。

**【後　期】**

| | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 学　事 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 10月 | | 9/30 ①❶ | 1 ①❶ | 2 ①❶ | 3 ①❶ | 4 ②❷ | 5 | 9/27 後期授業開始 |
| | 6 | 7 ②❷ | 8 ②❷ | 9 ②❷ | 10 ②❷ | 11 ③❸ | 12 | 9/27-3 (2)履修登録状況確認期間<br>英語検定試験による単位認定申請期間 |
| | 13 | 14 ③❸ | 15 ③❸ | 16 ③❸ | 17 ③❸ | 18 ④❹ | 19 | 14 スポーツの日【授業開講日】 |
| | 20 | 21 ④❹ | 22 ④❹ | 23 ④❹ | 24 ④❹ | 25 ⑤❺ | 26 | 18-24 履修取消期間 |
| | 27 | 28 ⑤❺ | 29 ⑤❺ | 30 ⑤❺ | 31 ⑤❺ | | | 28 開学記念日【授業開講日】<br>28-11/1 補講期間4(5限) |
| 11月 | | | | | | 1 ⑥❻ | 2 | |
| | 3 | 4 ⑥❻ | 5 ⑥❻ | 6 ⑥❻ | 7 ⑥❻ | 8 ⑦❼ | 9 | 4 文化の日の振替休日【授業開講日】 |
| | 10 | 11 ⑦❼ | 12 ⑦❼ | 13 ⑦❼ | 14 ⑦❼ | 15 ⑧❽ | 16 | |
| | 17 | 18 ⑧❽ | 19 ⑧❽ | 20 ⑧❽ | 21 ⑧❽ | 22 ⑨① | 23 | |
| | 24 | 25 ⑨① | 26 ⑨① | 27 ⑨① | 28 ⑨① | 29 ⑩② | 30 | 25-29 補講期間5(5限) |
| 12月 | 1 | 2 ⑩② | 3 ⑩② | 4 ⑩② | 5 ⑩② | 6 ⑪③ | 7 | |
| | 8 | 9 ⑪③ | 10 ⑪③ | 11 ⑪③ | 12 ⑪③ | 13 ⑫④ | 14 | 13-19 履修取消期間(後半科目) |
| | 15 | 16 ⑫④ | 17 ⑫④ | 18 ⑫④ | 19 ⑫④ | 20 ⑬⑤ | 21 | 20-1/14 補講期間6(5限) |
| | 22 | 23 ⑬⑤ | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 24 開学記念日の振替休日<br>25-1/6 冬季休業期間 |
| | 29 | 30 | 31 | | | | | |
| 1月 | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| | 5 | 6 | 7 ⑬⑤ | 8 ⑬⑤ | 9 ⑬⑤ | 10 ⑭⑥ | 11 | 7 後期授業開始 |
| | 12 | 13 | 14 ⑭⑥ | 15 ⑭⑥ | 16 ⑭⑥ | 17 | 18 | 17 大学入学共通テスト準備のため休講<br>18・19 大学入学共通テスト　※17-19(滝子キャンパス立入禁止) |
| | 19 | 20 ⑭⑥ | 21 ⑮⑦ | 22 ⑮⑦ | 23 ⑮⑦ | 24 ⑮⑦ | 25 | 27 後期授業最終日 |
| | 26 | 27 ⑮⑦ | 28 ⑯⑧試 | 29 ⑯⑧試 | 30 ⑯⑧試 | 31 ⑯⑧試 | | 28-2/3 後期期末試験 |
| 2月 | | | | | | | 1 | 7 追試験願の提出期限 |
| | 2 | 3 ⑯⑧試 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 12 再試験・追試験受験許可者及び時間割発表<br>12-14 再試験受験　受付期間 |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 18-20 後期追試験・再試験期間 |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 25・26 前期日程入学試験　(滝子キャンパス立入禁止) |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | | |
| 3月 | | | | | | | 1 | 3 後期成績発表 |
| | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 8 中期日程入学試験<br>12 後期日程入学試験　(滝子キャンパス立入禁止) |
| | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | |
| | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 21 卒業式 |
| | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | |
| | 30 | 31 | | | | | | |

　　は、学部等事務室業務を取り扱いません。○は、講義開講日(数字は講義回数)です。

学期を〔前半〕〔後半〕に分けて開講する「英語科目(1単位)」は全8回で完結します。〔前半〕❶～❽回 〔後半〕①～⑧回

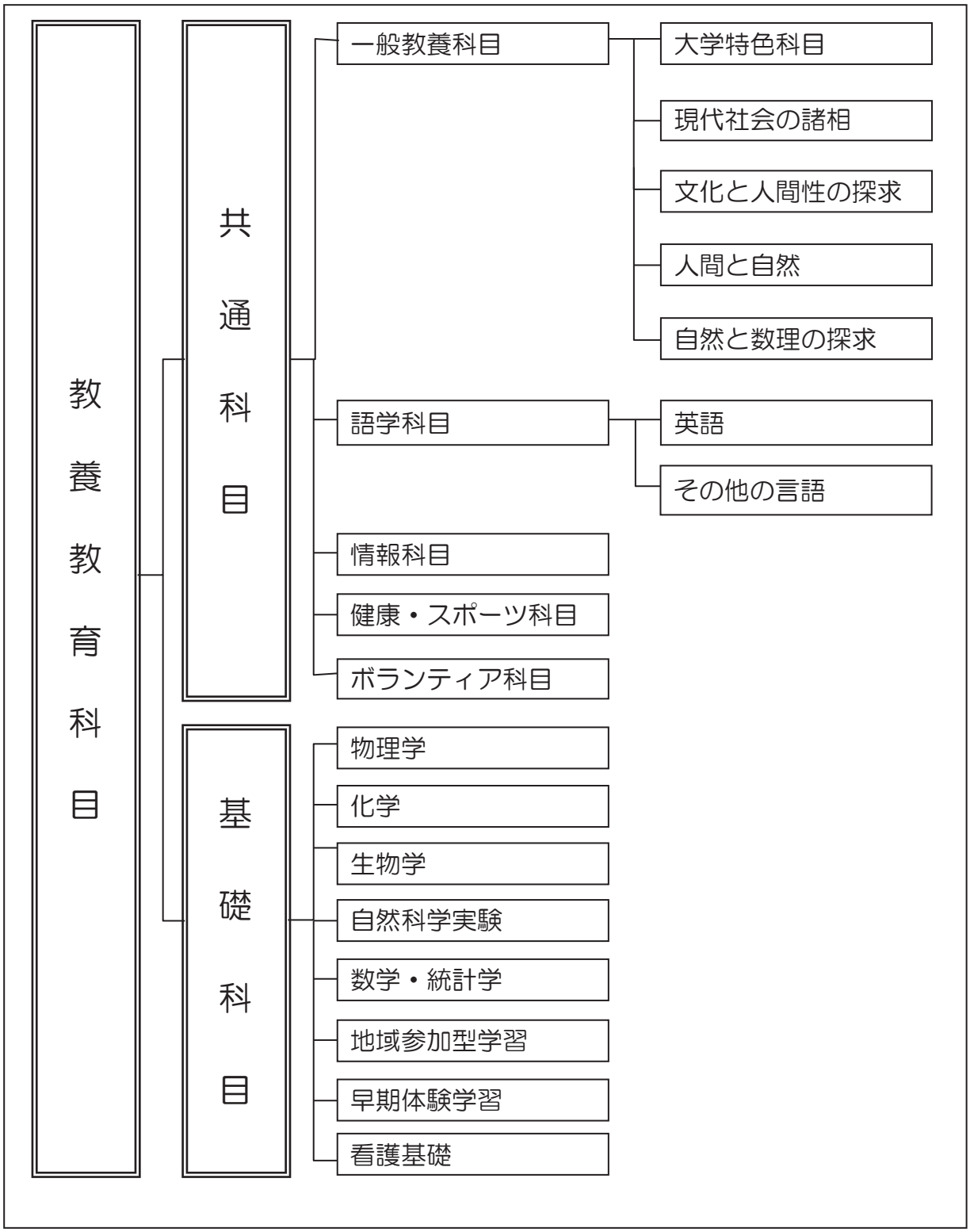
※国民の祝日に関する法律に規定する休日は学則で休業日とされていますが、後期授業回数確保のため10月14日(月)、11月4日(月)を授業開講日とします。

## ３　教養教育科目の概要

「教養教育科目」は８学部共通の授業科目群で構成されています。

このうち「大学特色科目」には、『初年次教育科目』が設置されています。全学の教育力を結集した初年次教育科目を積極的に選択してください。

また、それぞれの区分において履修すべき科目および単位数、必修・選択の別などについては、所属学部の履修規程に定められています。詳細は後掲「６　教養教育科目における修得必要単位数及び進級要件」及び専門教育履修要項を参照してください。



## ＜初年次教育について＞

本学では、一般教養科目の大学特色科目区分に初年次教育科目を配置しています。大学生や大人、社会人としての基礎を学ぶ科目となりますので、ぜひ積極的に履修してください。

（科目概要）

「ＮＣＵラーニング・コンパス」

大学時代に身につけるべき資質・能力（コンピテンシー）とは何かを理解し、それを身につけるための方向性を示すコンパス（羅針盤）獲得のための科目

「ヘルシーライフ」

人の生老病死を学ぶとともに、青年期の心身の健康を脅かす問題を理解し、これからの人生を心豊かに健康に過ごすための考え方や生活習慣を身につけるための科目

「キャリアデザインＡ、Ｂ」

社会人となるために身につけるべき力を理解すること（Ａ）、様々な働きかたを知ること（Ｂ）などを通して、自身のキャリア形成を意識する習慣を養い、キャリア獲得に向けた具体的行動につなげるための科目

「ＳＤＧｓを考える：医療系、自然系、数理情報系、社会科学系、人文系」

本学教員の SDGs とも関わる様々な研究に触れ、研究の意義や知的探求の面白さなどを知ることを通して、「大学での学びの姿勢」を理解する科目

# ４　教養教育科目履修の手引き

## （１）教養教育科目における授業時間

| | １限目 | ２限目 | ３限目 | ４限目 | ５限目 |
|---|---|---|---|---|---|
| 開始 | ９：００ | １０：４０ | １３：００ | １４：４０ | １６：２０ |
| 終了 | １０：３０ | １２：１０ | １４：３０ | １６：１０ | １７：５０ |

## （２）単位数の基準

１単位の学修内容は大学の内外合わせて45時間を基礎として､授業形態により次のように定めています。

ア　講義　　15時間の授業をもって１単位

イ　演習　　15時間又は30時間の授業をもって１単位

ウ　実験、実習及び実技　30時間の授業をもって１単位

前期及び後期それぞれの期間中、授業回数は15回を基本とします。時間割の１時限（コマ）は本学の場合90分間ですが、これを２時間と見なして単位を積算します。

主な授業科目の時間数及び単位数の関係は次のようになります。

| 授業の種類・方法 | 学　修　時　間 | | 合計（単位数） |
|---|---|---|---|
| | 授業時間 | 自習時間 | |
| 講　義 | 30時間（週２時間×15週） | 60時間 | 90時間（２単位） |
| 演　習 | 30時間（週２時間×15週） | 60時間 | 90時間（２単位） |
| | 30時間（週２時間×15週） | 15時間 | 45時間（１単位） |
| 実験、実習、実技 | 30時間（週２時間×15週） | 15時間 | 45時間（１単位） |

## （３）授業科目等の説明

### ア　授業科目

授業科目には「必修科目」「選択科目」及び「自由科目」があります。後掲「５　教養教育カリキュラム」には、必修科目は「●」、選択科目は「○」、自由科目は「自」と表記されています。また、いずれの表記もない科目は自学部のカリキュラムには存在しない科目ですので履修することはできません。

（ア）必修科目

進級や卒業のために必ず履修し、単位を修得しなければならない科目です。

（イ）選択科目

必修科目以外にも進級・卒業のためには科目区分ごとに修得が必要な単位数が定められています。

これらの条件を充たすため、学部・学科ごとに指定された区分の中から各自で選択し、履修する科目です。

（ウ）自由科目（卒業要件外科目）

進級・卒業要件の最低必要単位数には算入されない科目ですが、履修し、単位を修得することができます。

**イ　履修上の注意事項**

（ア）必修科目は、配当年次において履修しなければなりません。

（イ）授業時間の重なる授業科目（専門教育科目の授業科目を含む。）は、重複して履修することはできません。

（ウ）履修を届け出た授業科目以外の授業科目は、履修することができません。

（エ）既に単位を修得した授業科目は、再履修することはできません。

（オ）１年次においては、２年次に配当された授業科目を履修することはできません。

（カ）授業科目によっては、履修者数及び履修資格を定めることがあります。

（キ）授業科目のうち、履修するクラスを指定する科目（以下「指定科目」という。）は、原則として指定されたクラス以外で履修することはできません。ただし、指定科目を再履修するため、同一授業時間の別の指定科目が履修できない場合、指定されたクラス以外で履修できることがありますので、窓口で相談してください。

なお、クラス指定は主に健康・スポーツ科目や数学などの基礎科目などで行われます。履修するクラスは学務情報システムで確認して下さい。

## （４）教養教育科目の履修にあたって

**ア　担当窓口**　　〔窓口取扱時間〕　平日　午前９時～午後５時

教養教育科目の履修及び試験に関する担当窓口は教務企画室（滝子キャンパス１号館１階）です。疑問や不明な点があれば、窓口で相談し、誤解や不注意のために自ら不利益を招くことがないよう注意してください。また、間違いを防ぐために電話による質問等は控え、必ず窓口まで出向いて下さい。

**イ　シラバス（授業計画）の閲覧について**

シラバスとは、各授業科目の授業計画の概要が記載されているものです。授業を受ける上で必要な情報が記載されていますので、これを活用し、授業科目の内容を十分に理解したうえで履修計画を立ててください。シラバスは「学務情報システム」から閲覧することができます。年度途中でシラバスの内容が変更となる場合がありますので、適宜参照してください。

【シラバス掲載内容】

授業の目的・目標、キーワード、ディプロマ・ポリシーとの関連、学修到達目標、成績評価基準、授業概要、授業計画、授業時間外の学修（準備学習を含む）、成績評価方法、教科書・テキスト、連絡先・オフィスアワー、その他

**ウ　連絡、掲示**

教養教育科目に関する連絡は基本的に「学務情報システム」によって行います。

見落としによる不利益はすべて自己責任となります。全ての連絡が必ずしもメール送信されるわけではありませんので、学務情報システムにログインする習慣をつけて、見落とし等のないように注意してください。電話、E-mail での問い合わせには応じません。

**エ　欠席について**

授業を欠席する場合、窓口・電話等による担当教員への取り次ぎは行いませんので注意してください。

忌引その他特別の理由で欠席する場合は、特別欠席届に必要書類（会葬礼状、診断書など）を添付し、科目担当教員の確認印を得た後、すみやかに教務企画室へ提出してください。特別欠席届の用紙は教務企画室窓口でお渡しします。（大学 Web サイトからもダウンロードできます。）

ただし、特別欠席届の提出により出席の扱いとなるわけではありません。欠席理由の如何を問わず、授業科目の成績評価等に関する取扱いについては科目担当教員の判断によります。

## （５）科目履修の手続き

### ア　履修のながれ

履修する科目を決めたら、履修登録期間内に「学務情報システム」から履修登録を行って下さい。

この手続きを怠った場合、毎回の授業に出席しても単位を修得することはできません。

学務情報システムの操作方法は巻末の「13　学務情報システム（Live Campus U)について」を参照し、確実に登録を行ってください。

**①履修計画、時間割の作成**

各学部の修得必要単位数及び進級・卒業要件を見て必要な単位数や修得すべき科目等を把握します。

その後、時間割表、シラバスを参考にしながら「個人別時間割表」（巻末）を完成させてください。

最初に①健康・スポーツ科目等の教養教育科目の必修科目を、次にCAP制の制限単位数に注意しながら②専門教育科目の必修科目、③選択科目（教養・専門）の順に記入してください。

⇩

**②履修登録（指定科目等）**

「語学科目（その他の言語)」及びクラス指定のある「NCUラーニング・コンパス」、「健康・スポーツ科目」等については初年次に限り、あらかじめ大学が履修登録を行います。前期の授業開始時には該当する時間割にクラス指定科目が登録された状態となりますので学生が履修登録する必要はありません。

上記以外の科目については各自で時間割表を確認し、③又は④の履修登録期間内に正しく履修登録してください。

⇩

**③履修登録（抽選対象科目）**

教養教育科目のうち、「キャリアデザインＡ、Ｂ」や「日本国憲法」などの「一般教養科目」及び「語学科目（英語)」は履修人数の上限を定めているため、抽選により履修者を決定します。

抽選の手順は後述の【一般教養科目等の抽選について】を参照してください。

抽選の結果、希望の科目を履修できないことがあります。※1

| | 抽選登録期間 | 抽選結果発表 |
|---|---|---|
| 前期開講科目 | 〔１回目〕４月５日（金）　９時 ～ ４月 ９日（火）12時 | ４月 ９日（火）15時 |
| | 〔２回目〕４月９日（火）15時 ～ ４月10日（水）12時 | ４月10日（水）15時 |
| | 〔３回目〕４月10日（水）15時 ～ ４月11日（木）12時　※2 | ４月11日（木）15時 |
| 後期開講科目 | 後期開始前の９月９日（月）～13日（金）を予定。日程の詳細は後日学務情報システムで発表します。 | |

※1 抽選の結果、定員に達しなかった科目については⑤の期間に履修登録が可能です。

※2 ２回目の抽選の結果により、３回目の抽選を行わないことがあります。実施の有無は学務情報システムでお知らせします。

⇩

**④履修登録（②指定科目、③抽選対象科目を除く）**

上記②③で登録しなかった科目の履修登録及び後期開講科目の仮登録※1を行います。

なお、自由科目（卒業要件外科目）及び抽選後の抽選対象科目は学務情報システム（Ｗｅｂ）では履修登録できません。履修を希望する場合は、⑤の期間内に教務企画室窓口へ申し出てください。

| | |
|---|---|
| 前期 | ４月５日（金）９時～４月11日（木）17時<br>前期、通年開講、後期（抽選対象科目及び集中講義※2を除く）の履修登録 |
| 後期 | 後期開始前の９月９日（月）～13日（金）を予定。日程の詳細は後日学務情報システムで発表します。<br>後期開講科目の履修登録及び後期、通年開講科目の履修取消・変更 |

※1 当期間で仮登録した後期開講科目は、後期の履修登録期間に修正可能です。
専門科目の履修登録期間・方法については、各学部専門科目の履修要項等で確認してください。

※2 後期の抽選対象科目はこの期間に登録（抽選）を行いません。
集中講義科目は通常の履修登録期間とは異なる期間（前期は５月下旬～６月上旬）に募集します。履修の方法・時期については学務情報システムでお知らせします。

授 業 開 始

⇩

⑤履修登録状況確認期間

履修申請した科目が正しく登録されているかを各自で確認する、又は履修エラーとなった科目を更正する期間です。また、抽選対象となった一般教養科目及び語学科目（英語）のうち、抽選後、定員に達しなかった科目についてはこの期間に履修登録が可能です（窓口受付）。なお、②～④で履修登録し、確定状態となった科目の取り消し、変更はできません。

| | |
|---|---|
| 前　期 | 4月12日（金）9時 ～ 4月18日（木）17時 |
| 後　期 | 9月27日（金）9時 ～ 10月3日（木）17時 |

⇩

⑥履修の取り消し

授業内容が想定したものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足している等の理由で、履修登録を取り消したい場合は、履修取消期間内に教務企画室で手続きを行ってください。取消を行わない場合、失格・不可など不本意な成績評価が与えられることになりますので必ず手続きを行ってください。ただし、必修科目の取消はできません。

| | |
|---|---|
| 前　期 | 5月7日（火）9時 ～ 5月13日（月）17時 |
| 前期後半科目 | 7月2日（火）9時 ～ 7月8日（月）17時 |
| 後　期 | 10月18日（金）9時 ～ 10月24日（木）17時 |
| 後期後半科目 | 12月13日（金）9時 ～ 12月19日（木）17時 |

**【一般教養科目等の抽選について】**

（1）抽選対象となる科目

教養教育科目のうち、「一般教養科目」及び「語学科目（英語）」に区分される科目

（2）抽選履修登録の方法

学務情報システムからＷｅｂ上で履修登録を行います。

**＜抽選により受講が認められた場合＞**

抽選の結果は学務情報システムの「履修登録画面」で確認することができます。受講が認められた授業科目については該当の時間割に「確定」の状態で登録されています。確定した科目は履修変更できません。

**＜抽選に漏れた場合＞**

定員に空きのある授業科目については、前・後期それぞれの履修登録状況確認期間に履修登録できます。ただし、学務情報システム（Ｗｅｂ）からの登録はできませんので履修を希望する場合は、期間内に教務企画室窓口へ申し出てください。

履修登録が可能な科目については、学務情報システムでお知らせします。

（3）抽選履修登録にかかる注意事項

・1回の抽選でエントリーできる単位数は、半期CAP上限単位数から「①すでに登録済みの科目、②通常の履修登録で登録する科目の合計」を差し引いた単位数を超えることはできません。また、1回の抽選でエントリーできる科目数は、前記単位数の範囲内かつ6コマ（1コマ2科目まで）を上限とします。

この上限を超えるエントリーがあった場合、各抽選実施前に超過した科目のエントリーを取り消します。取り消す科目は選べません。

（例）　CAP上限が半期24単位の場合

①すでに登録済みの科目　4単位　　②通常の履修登録で登録する科目　6単位

24単位 － （① ＋ ②）　＝　14単位

⇒ 1回の抽選でエントリーできるのは　14単位以内　かつ　6コマ以内（1コマ2科目まで）

・同一コマに2科目まで抽選科目を選択できます。科目の志望順位を選択して抽選に臨むことができます。

・抽選で履修が認められた科目は変更できません。また、各学期に設けられている履修登録取消期間まで履修を取り消すことはできません。

・抽選登録の期間は授業開始前の非常に短い日程で設定されています。登録期間開始後に慌てることのないようガイダンスでの説明や履修要項、シラバスを十分に活用し、慎重に履修計画を立ててください。
・履修に関し不明な点がありましたら、早めに教務企画室（教養教育）、所属の学部等事務室（専門教育）に相談してください。

**イ　再履修・指定外履修**

不合格又は失格となった授業科目については、再度履修することができます。

指定科目を再履修する場合、原則として当初と同じ学期・曜日・時限・担当教員のクラスにおいて履修してください。ただし、授業編成の都合でその授業時間に履修できない場合には、異なる学期又は他のクラスで履修（指定外履修）できることがありますので、教務企画室に問い合わせてください。

**ウ　ＣＡＰ（キャップ）制について**

ＣＡＰ制とは、学修すべき授業科目を精選することで十分な学修時間を確保し、授業内容を深く真に身につけることを目的として、学生が履修科目として登録することができる単位数の上限を定めるものです。学期ごとに履修登録が可能な単位数は各学部の履修規程で次のとおり定められています。

| 学　部 | 前期 | 後期 | 対象区分 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 医学部 | 26 単位 | 26 単位 | 教養 | １年次のみ適用 |
| 薬学部 | 26 単位 | 24 単位 | 教養／専門 | １年次のみ適用 |
| 経済学部 | 26 単位 | 26 単位 | 教養／専門 | ２年次以降は各学期 20 単位 |
| 人文社会学部 | 24 単位 | 24 単位 | 教養／専門 | |
| 芸術工学部 | 27 単位 | 25 単位 | 教養／専門 | ２年次以降は各学期 24 単位 |
| 看護学部 | 27 単位 | 25 単位 | 教養／専門 | １年次のみ適用 |
| 総合生命理学部 | 25 単位 | 24 単位 | 教養／専門 | ２年次以降は各学期 24 単位 |

〈ＣＡＰ制の対象とならない科目〉
・集中講義科目、単位認定制度による認定科目
・教養教育科目　地域参加型学習「医薬看連携地域参加型学習」「地域連携参加型学習」
　　早期体験学習「生命薬科学研究入門」
・その他学部で別に定める科目

なお、経済学部、人文社会学部、芸術工学部、総合生命理学部では、直前の学期の成績により、履修登録できる上限単位数が最大４単位（半期あたり）加算されます。

| 直前の学期の GPA | 登録できる単位数 |
|---|---|
| 3.0 以上 | ４単位　加算 |
| 2.5 以上 3.0 未満 | ２単位　加算 |

**エ　履修取消制度について**

履修取消制度は、授業内容が想定したものと異なっていたり、履修上必要な知識が不足している等の理由で、学期の途中で履修の中止を申し出ることができる制度です。履修登録を取り消したい場合は、履修取消期間内に教務企画室で手続きを行ってください。取り消した科目は GPA 算出の対象から除外されますが、取り消しを行わない場合には、失格・不可など不本意な成績評価が与えられ、GPA を下げることになりますので注意してください。

なお、必修科目は取り消しできません。

学期外に開講する集中講義（教養教育科目）については、初回授業日の窓口取扱時間内に限り取り消しを受け付けます。

## （６）ＧＰＡ制度について

本学では、平成 22 年度入学者（医学部を除く）より、GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。学生の学修意欲を高めることを目的とし、自分自身の学修計画に責任を持ち、履修登録した授業科目を自主的、意欲的に学修することを促すための制度です。

GPA は、授業科目毎の評価を 4.0～0.0 までの GP（Grade Point）に置き換えて単位数を乗じ、その総和を履修登録単位数の合計で除した平均値です。

【学期 GPA】

$$\frac{\text{当該学期における[(科目の単位数)×(その科目で得た GP)]の総和}}{\text{(当該学期に履修登録した単位数)の総和}}$$

【累積 GPA】

$$\frac{\text{各学期における[(科目の単位数)×(その科目で得た GP)]の累計}}{\text{(各学期で履修登録した単位数)の累計}}$$

※GPA の計算は、小数点以下第３位を四捨五入します

各評価の GP とその意味は、次のとおりです。卒業の要件に算入されない科目、評定が合、否および認定の科目、履修科目の取消手続きをしたものについては GPA の対象外のため、GP の設定はありません。

| 評価 | 秀 | 優 | 良 | 可 | 不可 | 欠席 | 失格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＧＰ | 4.0 | 3.0 | 2.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

履修を途中で放棄したものは、不可または失格の評価となり、GPA 値に反映します。一度不合格になった授業科目を再履修し単位を修得した場合、不合格となった成績が再履修後の成績に置き換えられて GPA 値に反映されます。GPA は成績通知書に記載されます。

## （７）試験及び成績

### ア　期末試験

期末試験は、学事日程表に従い各学期末の期末試験期間中に実施しますが、授業科目により授業期間中に実施することもあります。また、レポート提出やその他の方法をもって試験に代えることがあります。期末試験の日程、時間割等は、期末試験開始日の２週間前までに学務情報システムで発表します。

### イ　期末試験の受験資格

次のいずれかに該当する授業科目については、失格者として受験資格を認めません。

（ア）学期中の出席日数が、原則として全時間数の７割に満たない科目

（イ）その他、成績判定基準により受験資格を与えない科目

### ウ　追試験とその受験資格

次のいずれかに該当し、期末試験を受験できなかった場合は、追試験を願い出ることができます。

（ア）疾病又は怪我

（イ）災害又は公共交通機関の途絶

（ウ）三親等以内の親族の葬儀（通夜及び告別式）

（エ）やむを得ないと認められる事由

上記以外の理由では、原則として追試験は行いません。

追試験の願い出は、期末試験期間終了後３日以内（国民の祝日に関する法律の休日を除く）に、所定の「追試験受験願」を記入のうえ、診断書、事故証明書等その理由を証明する書類を添えて、教務企画室に提出してください。「追試験受験願」の用紙は教務企画室にて配付します。この申請による受験の可否は、後日学務情報システムでお知らせします。なお、追試験を受験できなかった場合の追々試験は行

いません。

**エ　再試験とその受験資格**

期末試験で不合格となった者のうち、採点結果が 50 点以上の者は再試験を受験することができます。再試験を受ける学生は指定された期間内に教務企画室で「再試験受験願」を提出してください。

・受験申込みは必ず本人が行ってください。受付時に本人確認を行いますので学生証を忘れずに持参してください。
・**再試験は有料（１科目につき 1,000 円）です。**申請時に現金で徴収します。受験料の納付が確認できない場合、受験できません。また、一旦納付された受験料は返還しません。
・再試験の実施方法（筆記／レポート／プレゼン等）にかかわらず、当該科目の再試験を受験する場合は申し込みが必要です。
・受験許可者を発表した後、期限までに再試験受験願が提出されない場合は、受験できません。
・再試験は期末試験の結果により実施されるものであり、学生から科目担当教員へ願い出ることはできません。このような行為は厳禁します。
・再試験対象者は学務情報システムで発表します。各自で確認してください。電話等での問い合わせには応じません。
・再試験を受験できなかった場合の追試験は行いません。

**オ　成績の評価**

授業科目の成績は、100 点満点とした点数により採点し、60 点以上を合格、60 点未満を不合格とし、次のように表示します。

90 点以上　秀
80 点以上　優
70 点以上　良
60 点以上　可
60 点未満　不可

再試験による成績評価は「可」又は「不可」です。

また、一定水準の成績達成を目的とした授業科目においては、点数による採点を行いません。成績評価は「合」または「否」です。

**カ　成績の通知**

前期又は後期の期末試験終了後に、「学務情報システム」で「成績通知書」を確認して下さい。成績発表日は学務情報システムでお知らせします。

**キ　成績疑問票**

成績評価に関して疑問がある場合は、成績発表後、所定の期間内に「成績疑問票」を提出することにより、その評価内容の開示を求めることができます。教養教育科目については教務企画室で「成績疑問票」の用紙を受け取り、成績発表後 7 日以内に提出してください。

ただし、安易に成績の再考や救済を求める内容のものは提出できません。

また、発表後の成績に関する疑問・質問等については、「成績疑問票」による申し出に限り受け付けます。学生から科目担当教員へ直接問い合わせることはできません。

（成績疑問票を提出できる場合）

・出席、課題提出、試験等に照らして、成績評価について疑義があると思われる場合
・シラバス等に記載されている到達目標、成績の評価方法と基準等から、成績評価について疑義があると思われる場合
・その他、具体的かつ明確な理由をもって成績評価に疑義があると思われる場合

## （８）試験における不正行為の絶対禁止について

試験にあたっては、以下の点に留意し、監督者の指示に従い厳正に受験しなければなりません。

①履修登録をしていない学生は、期末試験を受験することができません。試験前には履修登録を再確認し、不明点等があれば教務企画室へ申し出て下さい。
②学生証を試験監督者が見やすい、机上の場所に置いてください。
③机上には事前に許可されているものを除き、原則として筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの及びそれらの機能の有無が判別しづらいものは不可）以外の用具等を置いてはいけません。机の中は必ず空にし、荷物は全て床に置くこと。
④携帯電話は必ず電源を切り、収納してください。
⑤試験開始後 20 分以上経過したときは、入室できません。
⑥試験開始後 30 分以上経過しなければ、退室できません。
⑦試験中の態度不良もしくは監督者の注意に違反した者には、退室を命ずることがあります。
⑧その他試験実施にあたっての指示や注意事項は、学務情報システムでお知らせします。

**不正行為が発覚した場合は、以下の指針に基づき相応の措置がとられます。**

定期試験及び定期試験に代わるレポート課題における不正行為に対する懲戒等及び措置に関する指針

（平成27年４月１日 学長決定）

名古屋市立大学学生懲戒規程（以下「懲戒規程」という。）第23条の定めるところにより、同規程第3条第1項第4号に掲げる試験等における不正行為に関し、以下のとおり定める。

（定期試験における不正行為の定義）
第１　定期試験において学生が次に掲げる行為を行ったときは、不正行為を行ったものとみなすこととする。
(1)　カンニング（カンニングペーパーを所持し又は見ること、持込みが許可されていないテキスト等を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
(2)　試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。
(3)　試験時間中に、携帯電話等を使用すること。
(4)　使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
(5)　試験開始の指示の前に問題を見たり解答を始めること。
(6)　試験終了の指示に従わず、解答を続けること。
(7)　試験時間中に、携帯電話、時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に多大な影響を与えること。
(8)　試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
(9)　試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
(10)　その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
（定期試験に代わるレポート課題における不正行為の定義）
第２　定期試験に代わるレポート課題において学生が次に掲げる行為を行ったときは、不正行為を行ったものとみなすこととする。
(1)　既に公表されている著作物やウエブサイトに掲載された他人の文章や図表等の全部又は一部を、引用・出典を明示せずに、故意にあたかも自分自身の作成した文章や図表であるかのように利用すること。
(2)　他人が作成したレポートの全部又は一部を、あたかも自分自身の作成したレポートであるかのように提出すること。
(3)　その他、定期試験に代わるレポート課題の公平性を損なう行為をすること。

（懲戒等及び措置）

第３　第１又は第２に規定する不正行為を行ったものとみなされた学生に対しては、懲戒規程に基づき、懲戒処分（戒告、停学若しくは退学）又は学部長等による厳重注意（以下「懲戒等」という。）を行う。

２　前項に規定する懲戒等とあわせて、学部長等は、学部等の教授会の議を経て、不正行為の態様に応じて次の各号のいずれかの措置を行うものとする。

(1)　その学年における全ての科目の履修及び成績を無効とする。

(2)　その学期における全ての科目の履修を無効とする。ただし、通年科目の取扱いは、学部長等が教授会の議を経て決定する。

(3)　当該科目の履修を無効とする。なお、不正行為により教養教育の英語科目が無効となった場合は、当該懲戒等が行われた年度には英語検定試験による単位認定は行わない。

３　前項の規定にかかわらず、その学年における医学部専門教育科目のうち、不正行為を行った時点において、既に履修を終えている科目についてはその履修及び成績を無効とし、現に履修中の科目についてはその取扱いを学部長等が教授会の議を経て決定する。

（懲戒等の通知及び公示）

第４　第３に基づき懲戒等及び措置を行うときは、懲戒等の種類に関わらず、当該学生に通知し、及び公示するものとする。

２　前項の通知については、懲戒処分である者にあっては懲戒規程第14条に定めるところにより、学部長等による厳重注意である者にあっては同条の例により、それぞれ行うものとする。

３　第1項の公示については、懲戒処分である者にあっては懲戒規程第15条に定めるところにより、学部長等による厳重注意である者にあっては同条の例により、当該学生の所属、学年、懲戒等の種類、懲戒等の理由を掲げるほか、措置の内容を明らかにする。

４　第１項および前項の公示は、次の各号に掲げる場所に掲示することにより行う。

(1)　当該学生が所属する学部等の掲示板

(2)　教養教育科目における不正行為の場合、前号に加えて教養教育の掲示板

(3)　懲戒処分を行う場合、前２号に加えて他の学部及び研究科の掲示板

（その他）

第５　第３に定める懲戒等及び措置の基準については、別に定める。

付　記

１　この指針は、平成27年４月１日から施行し、平成27年度に実施する定期試験及び定期試験に代わるレポート課題から適用する。

２　定期試験に準ずる試験及び集中講義に係る試験についても、この指針を準用する。

３　定期試験に準ずる試験に代わるレポート課題及び集中講義に係る試験に代わるレポート課題についても、この指針を準用する。

【レポート課題作成時の注意】

レポートは、自分で調べたことや考えたこと等を自分の文章で記述するものです。

他の文献等を調べ学ぶことは非常に重要ですが、それを引用する場合はルールがあります。引用する場合は、引用した部分とそれに関する自分の考えの部分をはっきりと区別して示す必要があります。他人の文章、図表をあたかも自分のオリジナルであるかのように利用することは、「剽窃」（盗作）であり、定期試験等に代わるレポート課題に関しては、「定期試験及び定期試験に代わるレポート課題における不正行為に対する懲戒等及び措置に関する指針」に基づき、試験におけるカンニングと同様に不正行為とみなされ処分等の対象となります。授業においても指導されるレポート作成に当たってのルールを守ってレポートを提出して下さい。

## （９）単位認定制度について

教養教育科目では、下記ア～カの単位認定制度があり、該当する学生は、所定の手続きにより単位が認定されます。いずれの場合も成績評価は「認定」となります。

### ア　既修得単位認定

新たに本学の第１年次に入学した者の大学等における既修得単位（科目等履修生等として修得した単位を含む。）について教育上有益と認める場合は、学則第 40 条の規定により本学で修得した単位として認定することがあります。この場合、教養教育科目として 30 単位の範囲内で所属学部において認定します。

単位の認定を希望する学生は、所定期間内に教務企画室で手続きを行ってください。なお、手続き時には以下の書類が必要ですので、あらかじめ準備してください。

（ア）既修得単位認定申請書
（イ）認定を受けようとする科目に対応する、既に他大学等で履修した科目の講義概要を示した書類（シラバスのコピー等）
（ウ）履修要項、履修ガイド等（履修方法、カリキュラム等が掲載されている冊子）
（エ）学業成績証明書の原本１通（３ヶ月以内に発行されたもの）

| | |
|---|---|
| 申請期間 | ４月８日（月）午前９時 ～ ４月 11 日（木）午後５時 |

認定審査の結果は、教務企画室からお知らせします。

### イ　外国の他の大学又は短期大学における修得単位認定

在学期間中に協定校留学などにより、外国の他の大学又は短期大学における修得単位がある場合、学則第 39 条の規定により本学で修得した単位として認定することがあります。この場合、専門教育科目での単位認定とあわせて最大 30 単位の範囲内で、所属学部の教授会の議を経て認定します。

単位の認定を希望する学生は、認定を希望する年度の４月から翌年の２月末日までの間に（末日が土日祝日にあたる場合はその前日までに）、所属学部の事務室へ申請して下さい。なお、申請には以下の書類が必要ですので、あらかじめ準備して下さい。

（ア）外国の大学等から送付された成績証明書（原本）
（イ）外国の大学等で単位修得した科目のシラバスとその日本語訳
（ウ）外国の大学等で単位修得した科目を修得するのに必要な学修時間（講義、演習、実技、実習、実験の各時間）を記載した文書。ただし、前号の書類により判明する場合は不要。
（エ）その他必要と認める書類

認定審査の結果は、所属学部の事務室を通じてお知らせします。

### ウ　英語検定試験による単位認定

外部機関が実施する検定試験（実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL）で所定の級位又は点数を得た場合、申請に基づき教養教育科目の英語科目の単位として最大４単位まで認定します。

| 検定試験の種類 | 語学科目［英語］ | |
|---|---|---|
| | ２単位 | ４単位 |
| 実用英語技能検定（S-CBT 含む） | 準１級 | １級 |
| TOEIC / TOEIC L&R | 730～799 点 | 800 点以上 |
| TOEFL（iBT） | 77～88 点 | 89 点以上 |

（ア）申請方法

教務企画室窓口で申請用紙を受け取り、申請期間内に手続きを行ってください。

（イ）必要書類

合格証書／スコアレポート（公式認定証）の原本

※TOEIC-IP（団体特別受験制度）は対象外

【補足事項】

（１）申請対象となるスコア等について

○申請はいずれか１種類の検定に限ります。

（例）過去に英検準１級で「２単位」が単位認定された場合、同じ学生がTOEICで730点を獲得しても、重複して「2単位」申請することはできません。

○同種の検定試験でさらに高得点を獲得した場合には、過去に認定された単位に加えて申請することができます。

（例）初回の申請でTOEIC 730点により２単位が認定され、その後に受験した同検定で800点を獲得した場合、２単位（既定の４単位から初回で認定された２単位を差し引いたもの）を申請することができます。

○いずれの検定も合格又はスコアの獲得時期を問いませんが、各申請期間終了時までに合格証書又はスコアレポート（公式認定証）の原本が提出できるものが対象となります。

（２）認定の対象となる科目

CS：TOEIC Preparation（２単位）
CS：Grammar and Usage（２単位）
］認定単位は４単位を上限とします。

（３）認定後の履修登録、成績の取り扱いについて

○認定申請が行われた年度・学期の単位として認定します。

○成績の表示は「認定」となります。成績評価は行わないため、GPA算出の対象外となります。

○認定申請された授業科目の単位はCAP（履修制限単位数）には含まれません。

○事前に履修登録されている授業科目について申請が行われた場合は、申請を行った年度・学期における該当科目の履修登録を取り消します。

○通常の履修により単位を修得した科目に対する認定（成績修正）は行いません。

※英語科目の履修（抽選）登録期間は各学期の申請期間より早い時期に設定されています。認定申請を予定している場合は、認定を受けようとする科目の履修（抽選）登録は行わないでください。

| | | |
|---|---|---|
| 申請期間 | 第１回 | ４月12日（金）午前９時 ～ ４月18日（木）午後５時 |
| | 第２回 | ９月27日（金）午前９時 ～ 10月３日（木）午後５時 |

**エ　単位互換事業による単位認定**

（ア）愛知学長懇話会単位互換事業

愛知学長懇話会による単位互換事業は、愛知県内の国公私立大学間で各大学の特色ある授業科目を他大学の学生にも開放するもので、その修得単位を本学の修得単位として認定します。

各大学の開放科目は、愛知学長懇話会ホームページで確認できます。出願を希望する学生は、教務企画室及び所属学部の教務担当窓口（学部事務室）で申請期限までに手続きを行ってください。

愛知学長懇話会ホームページURL　http://aichi-gakuchou.jimu.nagoya-u.ac.jp

（イ）協定大学との単位互換事業

学生が他の大学又は短期大学（外国の他の大学又は短期大学を含む。）の授業科目を履修し単位を修得することが教育上有益と認めるときは、当該他の大学等との協議又は協定に基づき、これを許可することがあります。これにより修得された単位は、各学部の履修規程に従い、30 単位の範囲内で所属学部において認定します。履修方法等の詳細については学務情報システムでお知らせします。

**オ　ボランティア活動による単位認定（ボランティア科目）**

本学が認めるボランティア活動に参加する学生に対し、ボランティア科目として単位を認定します。合計 30 時間以上の活動時間で１単位、卒業までに２単位を上限とします。医学部、芸術工学部、看護学部、総合生命理学部においては自由科目とし、薬学部、経済学部、人文社会学部においては選択科目となります。履修登録などの手続きについては教務企画室で行ってください。

【単位認定条件】

（１）大学が認めるボランティア活動を対象とします。

・活動内容が適切であること
・公的機関もしくはそれに準ずる団体等の受け入れ又は仲介による活動であること
・活動の証明が可能であること
・大学の学習に支障がない活動であること
・計画的継続的活動であること
・報酬を伴わない活動であること

（２）合計 30 時間以上の活動に限ります。

・年次をまたがず、当該年度の授業終了日までに、単位認定に必要な書類一式を提出できる活動であること。
・専門教育科目として認定される活動でないこと。
・一種類のボランティア活動において活動時間の合計が 60 時間以上の場合、同一年度内の活動であれば２科目（２単位）が認定されます。
・前年度から継続して行う活動については、新年度にあらためて申請を行えば、さらに１科目（１単位）の認定が可能です。ただし、この場合の活動時間の集計範囲は、新年度に申請を行った日以降のものが対象となります。また、在学中の認定は２科目（２単位）が上限です。

（３）学研災付帯賠償責任保険（Ｂコース）に加入すること。ただし、受入団体の指定がある場合等はこの限りではありません。

【単位認定の手続き】

（１）履修申請

ア　活動開始前に、教務企画室まで「履修申請書」および上記（３）の保険の加入者証を提出して下さい。履修申請期間はとくに設けておらず、随時受け付けます。

ただし、「ボランティア団体リスト」（教務企画室にあります）に記載がない団体で活動する場合は、事前に団体認定の審査を行う必要があるため、活動の２カ月前までに教務企画室に「ボランティア団体登録書」を提出してください。

イ　原則として、活動前に履修申請がなされたものを単位認定の対象とします。ただし、災害への対応など急を要するボランティア活動や、本学と継続的な連携活動を行っている団体に関するボランティア活動の場合は、事後の申請を受理し、教養教育関係会議において単位認定の可否を審議します。

事後に申請する場合も、活動前に保険（上記③）に加入しておいてください。また、「ボランティア団体リスト」に記載がない団体で活動した場合は、「ボランティア団体登録書」も提出してください。

（２）ボランティア活動日誌およびレポートの作成

履修登録時に配布される「ボランティア活動日誌」に活動内容を記録し、活動日毎に団体担当者の署名をもらいます。また、活動終了後に「ボランティア活動レポート」（８００字以上・様式自由）を作成してください。

（３）ボランティア活動日誌およびレポートの提出

当該年度の授業終了日までに、教務企画室まで「ボランティア活動日誌」および「ボランティア活動レポート」を提出してください。

（４）単位認定審査

教養教育関係会議での審議後、各学部教授会の議を経て単位を認定します。

## (10) 聴講について

本学の学部学生・大学院学生で、教養教育科目の聴講を希望する場合は、科目担当教員が承認した場合に限り、受講することができます。（単位は付与されません。） 科目の聴講を希望する場合は、各学期の履修登録期間中に教務企画室へ届出をしてください。

## (11) リメディアル教育について

「リメディアル教育」とは、学生の基礎学力の修得を補完するために実施する課外の補習教育です。高等学校での未履修科目、入学試験での非選択科目、入学試験区分における試験科目の違い等の学力平準化に向け考慮すべき事情がある高等学校課程の科目について、特別講師による授業が行われます。なお、いずれの科目も単位の付与はありません。

リメディアル教育に関する問い合わせ・受講申し込み先は、所属学部の学部事務室です。

| 学　部 | リメディアル教育科目 |
|---|---|
| 経済学部 | 数　学 |

## 5 教養教育カリキュラム

下記一覧表中、「●」＝必修科目、「○」＝選択科目、「自」＝自由科目、＊印＝指定科目
「●」「○」「自」いずれも記載がない科目は、その学部のカリキュラム外の科目となりますので、履修できません。

**【履修に関する注意事項】**
(1)一般教養科目（大学特色科目、現代社会の諸相、文化と人間性の探求、人間と自然、自然と数理の探求）及び語学科目（英語）は抽選対象科目のため、履修登録の方法が通常とは異なりますので注意してください。
(2)自由科目は進級・卒業要件の最低必要単位数には算入されませんが、他の選択科目と同様に履修し、試験に合格すれば単位を修得することができます。
(3)履修登録者数が少数の場合、非開講となる場合があります。
(4)初年次における語学科目（英語）は、各学期、原則として４単位を超えて履修することはできません。

### （1）授業科目及び配当年次、単位数

一般教養科目　大学特色科目　（抽選対象科目）

| 授業科目［提供学部・部署］（副題） | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＊ ＮＣＵラーニング・コンパス | 講義 | 1 | 前 | 1 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| ヘルシーライフ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| キャリアデザインＡ<br>(キャリア形成に備えた学び) | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期　2クラス開講 |
| キャリアデザインＢ<br>(キャリアに関わる学び) | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ＳＤＧｓを考える：医療系 | 講義 | 1 | 前 | 2 | 自 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ＳＤＧｓを考える：自然系 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義 |
| ＳＤＧｓを考える：数理情報系 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ＳＤＧｓを考える：社会科学系 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ＳＤＧｓを考える：人文系 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 名古屋市教育委員会との連携講義 |
| 近世名古屋の歴史 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 大学生から始めるESD | 講義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |
| まちづくり論 | 講義 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |
| キャリアデザイン（実践編） | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 後期　2クラス開講 |
| 起業家になる | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義 |
| 地域社会で活躍する女性 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ワークライフバランスとダイバーシティ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 多文化共生と国際貢献 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 名古屋国際センター連携講義 |
| 持続可能な社会と私たち | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ＥＳＤと地域の環境 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 中部ESD拠点連携講義 |
| 次世代エネルギーワークショップ | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義 |

初年次

## 一般教養科目　現代社会の諸相

（抽選対象科目）

| 授業科目（副題） | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本国憲法 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| なぜ憲法が必要なのか | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 現代社会と法 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 知的財産権入門 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | ○ | ○ | 日本弁理士会東海支部との連携講義 |
| 人と法と医療 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 国民所得はどう決まるか？ | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ゲーム的状況を科学する | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 公共政策：健康と暮らしの社会科学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| はじめての経営学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 企業診断ＡＢＣ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会科学のデータ分析 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会学Ａ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会学Ｂ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 社会学Ｃ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 新聞報道の現場から | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 読売新聞との連携講義 |
| 人間の行動・心理と建築 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 平和論 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 国際政治 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義及び後期に開講 |
| 比較政治史 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| シティズンシップ入門 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 地域力を高めるひとづくり | 講義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |

## 一般教養科目　文化と人間性の探求

（抽選対象科目）

| 授業科目（副題） | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日本文化の理解 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 人類学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期　2クラス開講 |
| 日本語コミュニケーション | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 囲碁に学ぶ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 日本棋院との連携講義 |
| ヨーロッパの文化と歴史 | 講義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |
| 文化に見る歴史 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| アメリカ史入門 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| 都市と地域構造の地理学 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| 音楽と文化 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| デザインと情報 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | ○ | ○ | |
| 人間と表現 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義 |
| 自分とみんなで考える哲学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 応用倫理学 | 講義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |
| 心理学概論 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 心理学入門 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 西洋の教育と哲学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 次世代育成と地域の課題 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| デジタル時代の人文学 | 講義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 2024年度　非開講 |
| 世界を理解するための宗教学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 日本の宗教の歴史と文化 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| キー・コンピテンシー | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

## 一般教養科目　人間と自然

（抽選対象科目）

| 授業科目（副題） | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 科学史 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 環境と社会・制度・政治・経済 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 環境科学 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 名古屋市環境局環境科学調査センターとの連携講義：前期・後期ともに開講 |
| 植物の多様性と環境 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | 集中講義 |
| 動物とヒトの進化多様性 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | |
| 社会と医学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| くすりと社会 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | 自 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 都市と自然 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 健康と生活 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義及び後期に開講 |
| リハビリテーション概論 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 行動生態学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 集中講義 |

## 一般教養科目　自然と数理の探求

（抽選対象科目）

| 授業科目（副題） | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教養として知っておきたい様々な病気の実態 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | 自 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| 創薬と生命 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 宇宙のなりたち | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | |
| 植物とバイオテクノロジー | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| エネルギーのサイエンス | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| バイオサイエンス入門 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 情報と数理の世界 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 自 | |
| データサイエンスへの誘い | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| 地球史入門 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 前期・後期ともに開講 |
| 地域生態学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

## 語学科目　英語

（抽選対象科目）

| 授業科目 | | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | IS: Community | 演習 | 1 | 前後 | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 区分Ａの科目は各学期の〔前半〕〔後半〕で、それぞれ全8回で完結します。 |
| | IS: Social Justice | 演習 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | IS: Life & Work | 演習 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | IS: Health & Well-being | 演習 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | IS: The Arts | 演習 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| B | AE: Make a Difference in Your Community | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | AE: Interact Internationally | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | AE: Improve Life Skills | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | AE: Raise Health/Environmental Awareness | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | AE: Produce a Movie | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| C | CS: Presentation | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | CS: Grammar and Usage | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 英語力調査（TOEIC L&R IP）の結果に基づき熟度別クラス編成を行います。 |
| | CS: TOEIC Preparation | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | CS: Writing | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| D | EM: World News | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | EM: Popular Culture | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | EM: Reading for Inspiration | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | EM: Online Articles and Videos | 演習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

《英語プログラム内容紹介》

◆ **区分Ａ： Issues in Society （Lectures & Discussion）**

◆ **区分Ｂ： Action in English**

ネイティブ教員が担当し、授業はすべて英語で行われます。概ねTOEIC 500点以上の学生を想定した授業を行います。
スコアは目安として提示しているものであり、英語力調査（TOEIC IP）のスコアが500点未満だと受講できないということではありません。興味、学ぶ意欲のある学生は、ぜひチャレンジしてください。

◆ **区分Ｃ： Core Skills in English**

CS: Grammar and UsageとCS: TOEIC PreparationはTOEIC IPのスコアを基にした習熟度別クラス編成となります。
CS: PresentationとCS: Writingはネイティブ教員が担当します。

◆ **区分Ｄ： English through Media**

科目（クラス）によってTOEIC推奨スコアが提示される場合がありますので、科目選択の参考にしてください。

**＊＜英語力調査（TOEIC L&R IPテスト）について＞**

本学では、学生の英語コミュニケーション能力を測るため、全学部1年生を対象とした「英語力調査（TOEIC L&R IPテスト）」を4月当初に実施しています。テスト結果は、1年次における教養英語科目（区分 C)のクラス編成に使用します。

TOEIC（Test of English for International Communication）は、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。英語力を客観的に証明する指標として進学や就職など様々な場面で活用されています。
本学で実施しているTOEIC IPテストとは、TOEICと同様の試験内容のテストを本学主催で行うものです。

## 語学科目　その他の言語

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ドイツ語初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 「その他の言語」の修得必要単位として算入できます。 |
| ドイツ語初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| フランス語初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| フランス語初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 中国語初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 中国語初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 韓国語初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 韓国語初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| スペイン語初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| スペイン語初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 日本手話初級１ | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 日本手話初級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ポルトガル語入門 | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ロシア語入門 | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| イタリア語入門 | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| アラビア語入門 | 演習 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 日本語上級１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| 日本語上級２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | |
| ドイツ語初級会話１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | 《経済学部》<br>《人文社会学部》<br>《芸術工学部》<br><br>「その他の言語」の修得必要単位としては算入できませんが、卒業必要単位として算入することができます。 |
| ドイツ語初級会話２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | |
| フランス語初級会話１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | |
| フランス語初級会話２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | |
| 中国語初級会話１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | |
| 中国語初級会話２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | 自 | 自 | ○ | ○ | ○ | 自 | 自 | |
| 日本語レポート作成１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | 自 | ○ | ○ | ○ | | 自 | |
| 日本語レポート作成２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | 自 | ○ | ○ | ○ | | 自 | |
| 日本語リーディング・リスニング１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語リーディング・リスニング２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語プレゼンテーション１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語プレゼンテーション２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語ライティング１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語ライティング２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語ディスカッション１ | 演習 | 1 | 前 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |
| 日本語ディスカッション２ | 演習 | 1 | 後 | 2 | | 自 | 自 | 自 | 自 | | 自 | |

注）１　それぞれの母語を履修することはできません。
　　２　以下の日本語科目を履修できるのは外国人特別学生（留学生）に限ります。
　　・日本語上級１、２　　・日本語レポート作成１、２
　　・日本語リーディング・リスニング１、２　　・日本語プレゼンテーション１、２
　　・日本語ライティング１、２　　・日本語ディスカッション１、２
　　３　各言語の「初級２」を履修するためには、同じ言語の「初級１」を履修中または履修済みであることが必要です。

## 情報科目

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医療統計学基礎 | ※ | 1 | 前 | 1 | ● | | | | | | | ※講義及び演習 |
| 情報リテラシー | ※ | 1 | 前 | 1 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ※講義及び演習 |
| データサイエンス・リテラシー | ※ | 1 | 後 | 1 | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ※講義及び演習 |
| デジタル表現基礎 | ※ | 1 | 前 | 1 | | | | | ● | | | ※講義及び演習 |

## 健康・スポーツ科目

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＊ 健康・スポーツ科学 | 講義 | 1 | 前 | 1 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| 健康・スポーツ実技 | 実技 | 1 | 後 | 1 | | | | 自 | | 自 | 自 | 保育士・教職課程履修学生に限る |

## ボランティア科目

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ボランティア科目１ | 実習 | 1 | 随時 | 1 | 自 | 自 | ○ | ○ | 自 | 自 | 自 | |
| ボランティア科目２ | 実習 | 1 | 随時 | 1 | 自 | 自 | ○ | ○ | 自 | 自 | 自 | |

## 物理学

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 物理学基礎 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | ●<br>—<br>自 | | | | | ○ | 《薬学部》大学入学共通テストでの「物理」を選択していない者は必修、受験者は自由。 |
| 力学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 電磁気学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| 波動・熱力学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | | | | | | ○ | |

## 化学

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 化学概論 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | ○ | | | | | | |
| 化学基礎 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | | | | | | ○ | |
| 化学熱力学基礎 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | ○ | | | | | ○ | |
| 有機化学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | | | | | | ○ | |
| 生体分子化学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | | | | | | | |

## 生物学

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎生物学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | | | | | | ● | |
| 生物学基礎 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | ●<br>—<br>自 | | | | | | 《薬学部》大学入学共通テストでの「生物」を選択していない者は必修、受験者は自由。 |
| 生物学 | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | | | | | ● | |

## 自然科学実験

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＊ 自然科学実験 | 実験 | 1 | 後 | 1 | ○ | ● | | | | | ● | |

## 数学・統計学

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ＊ 微分積分学 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | ○ | ○ | | | | | | 学部により前期または後期 |
| ＊ 線形代数学Ⅰ | 講義 | 1 | 前 | 2 | ○ | ○ | | | | | ● | |
| 線形代数学Ⅱ | 講義 | 1 | 後 | 2 | ○ | ○ | | | | | ○ | |
| ＊ 数学Ａ１ | 講義 | 1 | 前 | 2 | | | ○ | | | | | |
| ＊ 数学Ｂ１ | 講義 | 1 | 前 | 2 | | | ○ | | | | | |
| ＊ 数学Ａ２ | 講義 | 1 | 後 | 2 | | | ○ | | | | | |
| ＊ 数学Ｂ２ | 講義 | 1 | 後 | 2 | | | ○ | | | | | |
| ＊ 統計学Ａ | 講義 | 1 | 前 | 2 | | | ○ | | | | | |
| 統計学Ｂ | 講義 | 1 | 後 | 2 | | | ○ | ○ | | | ○ | |
| 微分積分基礎 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | | | | | ● | | | 学科により前期または後期 |
| 線形代数基礎 | 講義 | 1 | 前後 | 2 | | | | | ● | | | 学科により前期または後期 |
| 微分積分基礎演習 | 演習 | 1 | 前後 | 1 | | | | | ● | | | 学科により前期または後期 |
| 線形代数基礎演習 | 演習 | 1 | 前後 | 1 | | | | | ● | | | 学科により前期または後期 |

注）「線形代数学Ⅱ」「数学Ａ２、Ｂ２」を履修するためには、各科目の「Ⅰ、１」を履修中または履修済みであることが必要です。

## 地域参加型学習

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医薬看連携地域参加型学習 | 演習<br>実習 | 1 | 通年 | 2 | ● | ● | | | | ● | | 《薬学部》薬学科は必修 |
| 地域連携参加型学習 | 演習 | 1 | 後 | 2 | | | ○ | ○ | ○ | | | |

## 早期体験学習

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 生命薬科学研究入門 | 演習 | 1 | 通年 | 2 | | ● | | | | | | 生命薬科学科は必修 |

## 看護基礎

| 授業科目 | 授業形態 | 配当年次 | 開講期 | 単位数 | 医 | 薬 | 経 | 人 | 芸 | 看 | 理 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎科学 | 講義 | 1 | 前 | 2 | | | | | | ● | | |
| 家族社会学 | 講義 | 2 | 後 | 2 | | | | | | ● | | |

## （２）集中講義開講予定

| 科　　目 | 担当教員 | 開講予定期間 |
|---|---|---|
| SDGs を考える　自然系 | 髙石　鉄雄 | 8 月 |
| 次世代エネルギーワークショップ | 鵜飼　宏成 | 7、8 月 |
| 国際政治 | 阿部　亮子 | 8 月 |
| 人間と表現 | 針貝　綾　他 | 8 月 |
| 植物の多様性と環境 | 木藤　新一郎　他 | 9 月 |
| 健康と生活 | 尾崎　康彦　他 | 9 月 |
| 行動生態学 | 村瀬　香 | 9 月 |
| 起業家になる | 鵜飼　宏成 | 12 月～2 月 |

・担当教員の都合等により、開講期間が変更されることがあります。
・学外実習は、諸事情により非開講となる場合があります。これらの場合は学務情報システムでお知らせします。
・受講希望者多数の場合は、各期１科目の登録に調整する場合があります。

履修登録の方法・時期等については、５月下旬～６月上旬に学務情報システムでお知らせします。

## ６　教養教育科目における修得必要単位数及び進級要件

2024 年度入学生における教養教育の修得必要単位数は以下のとおりです。

### （１）　医学部

**ア　修得必要単位数**

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="14">共通科目</td><td rowspan="5">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">５単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ・ｺﾝﾊﾟｽ（1）</td><td rowspan="14">左記以外に１単位以上（a 参照）</td></tr>
<tr><td>４単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">８単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">２単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td colspan="3">６単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（d 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">情報科目</td><td rowspan="2">２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療統計学基礎(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目　（e 参照）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">基礎科目</td><td colspan="2">物理学</td><td colspan="3" rowspan="3">８単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">化学</td></tr>
<tr><td colspan="2">生物学</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然科学実験</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">数学・統計学</td><td colspan="3">４単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td>２単位</td><td colspan="3">医薬看連携地域参加型学習(2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="4">４３単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　教養教育科目の修得必要単位数（４３単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、共通科目又は基礎科目（医薬看連携地域参加型学習を除く）の選択科目から１単位以上の修得が必要です。
b　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て４単位まで、修得科目の内容に応じて一般教養科目「現代社会の諸相」又は「文化と人間性の探求」のいずれかに算入することができます。
c　外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp. 16を確認してください。
d　それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
e　ボランティア科目（医学部）は自由科目です。

**イ　２年次への進級要件**

１年次終了時において、アに定める修得必要単位４３単位の全てを修得していない者は２年次に進級できません。

専門教育にも同様に進級要件が設けられており、年次進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件については医学部「専門教育履修要項」を参照してください。

## （２） 薬学部

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="10">共通科目</td><td rowspan="5">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">３単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ・ｺﾝﾊﾟｽ（1）</td></tr>
<tr><td>２単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位(a 参照)</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">２単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td>６単位<br>（b 参照）</td><td colspan="2">左記には区分Ａ又は区分Ｂの２単位を含むこと</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">２単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目（ｆ参照）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="7">基礎科目</td><td colspan="2">物理学（ｄ参照）</td><td colspan="2">大学入学共通テストで「物理」を選択していない場合　物理学基礎(2)</td><td rowspan="4">左記を含め、４区分から合計８単位以上<br>（e 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">生物学（ｄ参照）</td><td colspan="2">大学入学共通テストで「生物」を選択していない場合　生物学基礎（2）</td></tr>
<tr><td colspan="2">化学</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">数学</td><td colspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然科学実験</td><td>１単位</td><td colspan="2">自然科学実験(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td rowspan="2">２単位</td><td colspan="2">【薬学科】<br>医薬看連携地域参加型学習(2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">早期体験学習</td><td colspan="2">【生命薬科学科】<br>生命薬科学研究入門(2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">３１単位</td></tr>
</table>

※必修科目（一部選択必修科目）については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a 単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て２単位まで、修得科目の内容に応じて一般教養科目「現代社会の諸相」又は「文化と人間性の探求」のいずれかに算入することができます。

b (1)外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp. 16を確認してください。
(2) 「英語」の「区分Ａ」「区分Ｂ」に該当する科目はp. 22の科目一覧を確認してください。

c それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。

d 「物理学」及び「生物学」の必修科目について
・大学入学共通テストでの「物理」受験者が「物理学基礎」を履修した場合は自由科目となります。
・大学入学共通テストでの「生物」受験者が「生物学基礎」を履修した場合は自由科目となります。
・大学入試共通テストを課さない選抜方法により入学した場合には、高校で履修した科目や大学入試共通テストの受験科目を事前に大学が確認し、必修となる科目を指定します。

e 「物理学」「生物学」「化学」「数学」については、各科目区分の最低修得必要単位数を含め、４区分の合計で８単位以上の修得が必要です。

f ボランティア科目（薬学部）は自由科目です。

### イ ２年次への進級要件

１年次終了時において、アに定める修得必要単位３１単位のうち、「健康・スポーツ科学」１単位及び「自然科学実験」１単位並びに「医薬看連携地域参加型学習」２単位又は「生命薬科学研究入門」２単位を含め２９単位以上を修得していない者は２年次に進級できません。

※３１単位は修得必要単位数の表に記載された各科目の単位数の合計を基にしたものであり、単純な修得単位数の合計ではありません。必修科目の修得には特に注意をはらってください。

※これは教養教育における進級要件です。
専門教育にも同様に進級要件が設けられており、年次進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件については薬学部「専門教育履修要項」を参照してください。

## （３） 経済学部

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="10">共通科目</td><td rowspan="5">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">５単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ･ｺﾝﾊﾟｽ (1)</td><td rowspan="13">左記以外に４単位以上（a 参照）</td></tr>
<tr><td>４単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">８単位</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td colspan="3">６単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎科目</td><td colspan="2">数学・統計学</td><td colspan="3">数学　６単位<br>統計学　２単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">４２単位</td></tr>
</table>

※必修科目（一部選択必修科目）については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　教養教育科目の修得必要単位数（４２単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、共通科目又は基礎科目の選択科目から４単位以上の修得が必要です。
　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て２単位まで、修得科目の内容に応じて上記に示した区分に算入することができます。

b　外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp.16を確認してください。

c (1)それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
(2)各言語の「会話１、２」「日本語レポート作成１、２」を履修したことにより修得した単位は「その他の言語」の修得必要単位数には算入されませんが、上記ａ(1)に示した修得必要単位数４単位に算入することができます。

### イ ３年次への進級要件

２年次終了時において、アに定める修得必要単位数４２単位のうち、下記の必要単位数を修得していない者は３年次に進級できません。

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="2">科目区分ごとの最低修得必要単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="5">共通科目</td><td colspan="2">一般教養科目</td><td>５単位</td><td>NCUラーニング・コンパス (1)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>英語</td><td colspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="2">２単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td>情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td colspan="2">１単位</td></tr>
<tr><td>基礎科目</td><td colspan="2">数学・統計学</td><td colspan="2">数学６単位・統計学２単位<br>ただし、外国人特別学生は数学・統計学合わせて６単位</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="2">２２単位<br>ただし、外国人特別学生は２０単位</td></tr>
</table>

※これは教養教育における進級要件です。
　専門教育にも同様に進級要件が設けられており、進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件については経済学部「専門教育履修要項」を参照してください。

## （４） 人文社会学部（心理教育学科・現代社会学科）

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="11">共通科目</td><td rowspan="5">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">５単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ・ｺﾝﾊﾟｽ（1）</td><td rowspan="14">左記以外に１０単位以上（a参照）</td></tr>
<tr><td>４単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td colspan="3">６単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎科目</td><td colspan="2">数学･統計学</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">３６単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　教養教育科目の修得必要単位数（３６単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、共通科目又は基礎科目の選択科目から１０単位以上の修得が必要です。
　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て４単位まで、修得科目の内容に応じて上記に示した区分に算入することができます。

b (1)外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp.16を確認してください。
(2)英語を母語とする外国人特別学生は、英語を履修して卒業必要単位とすることはできません。この場合、英語科目の卒業必要単位は、教養教育科目及び専門教育科目において、英語科目及び英語関係科目以外で修得した単位をもって充当することができます。

c (1)それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
(2)各言語の「会話１、２」「日本語レポート作成１、２」を履修したことにより修得した単位は「その他の言語」の修得必要単位数には算入されませんが、上記ａ(1)に示した修得必要単位数１０単位に算入することができます。

## （５）　人文社会学部（国際文化学科）

### ア　修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="12">共通科目</td><td rowspan="5">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">５単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ・ｺﾝﾊﾟｽ（1）</td><td rowspan="12">左記以外に４単位以上<br>（a 参照）</td></tr>
<tr><td>４単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td>１２単位<br>(b 参照)</td><td colspan="2">区分Ａから４単位、区分Ｂから４単位を含めて 12 単位</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎科目</td><td colspan="2">数学･統計学</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">３６単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　教養教育科目の修得必要単位数（３６単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、共通科目又は基礎科目の選択科目から４単位以上の修得が必要です。
　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て４単位まで、修得科目の内容に応じて上記に示した区分に算入することができます。

b (1)外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp. 16を確認してください。
(2)「英語」の「区分Ａ」「区分Ｂ」に該当する科目はp. 22の科目一覧を確認してください。
(3)英語を母語とする外国人特別学生は、英語を履修して卒業必要単位とすることはできません。この場合、英語科目の卒業必要単位は、教養教育科目及び専門教育科目において、英語科目及び英語関係科目以外で修得した単位をもって充当することができます。

c (1)それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
(2)各言語の「会話１、２」「日本語レポート作成１、２」を履修したことにより修得した単位は「その他の言語」の修得必要単位数には算入されませんが、上記ａ(1)に示した修得必要単位数４単位に算入することができます。

## （６） 芸術工学部

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="11">共通科目</td><td rowspan="6">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">５単位</td><td>１単位</td><td>NCU ﾗｰﾆﾝｸﾞ・ｺﾝﾊﾟｽ (1)</td><td rowspan="11">左記以外に２単位以上（a 参照）</td></tr>
<tr><td>４単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">２単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2">２単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td colspan="3">６単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（d 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>３単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)<br>デジタル表現基礎(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目　（e 参照）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">基礎科目</td><td colspan="2">数学・統計学</td><td>６単位</td><td colspan="2">微分積分基礎 (2)<br>微分積分基礎演習(1)<br>線形代数基礎(2)<br>線形代数基礎演習(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">地域参加型学習</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">３１単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　教養教育科目の修得必要単位数（３１単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、共通科目又は基礎科目の選択科目から２単位以上の修得が必要です。

b　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て２単位まで、修得科目の内容に応じて一般教養科目「現代社会の諸相」又は「文化と人間性の探求」のいずれかに算入することができます。
　なお、専門科目として認定を希望する場合は、芸術工学部履修要項を参照してください。

c　外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp.16を確認してください。

d (1)それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
(2)各言語の「会話１、２」「日本語レポート作成１、２」を履修したことにより修得した単位は「その他の言語」の修得必要単位数には算入されませんが、上記 a に示した修得必要単位数２単位に算入することができます。

e　ボランティア科目（芸術工学部）は自由科目です。

### イ ４年次への進級要件

３年次終了時において、アに定める修得必要単位３１単位のうち、下記の必要単位数を修得していない学生は４年次に進級できません。

教養教育科目及び専門教育科目の修得単位数が、必修科目においては３年次までに配当されている授業科目単位数の８割以上、選択科目においては卒業要件単位数の６割以上であること。

＜参考＞教養教育科目における必修科目　　9 科目 11 単位
NCU ラーニング・コンパス(1)　情報リテラシー(1)　データサイエンス・リテラシー(1)
デジタル表現基礎(1)　健康・スポーツ科学(1)　微分積分基礎(2)　線形代数基礎(2)
微分積分基礎演習(1)　線形代数基礎演習(1)

※これは教養教育における進級要件です。
専門教育にも同様に進級要件が設けられており、年次進級に際しては両方の要件を満たさなければなりません。専門教育における要件については芸術工学部「専門教育履修要項」を参照してください。

## （7） 看護学部

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="9">共通科目</td><td rowspan="6">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">３単位</td><td>１単位</td><td>NCU ラーニング・コンパス(1)</td></tr>
<tr><td>２単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="2" rowspan="2">４単位</td><td rowspan="4">(a 参照)</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="2" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td rowspan="2">語学科目</td><td>英語</td><td colspan="3">６単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td>その他の言語</td><td colspan="3">４単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="2">情報リテラシー(1)<br>データサイエンス・リテラシー(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="2">健康・スポーツ科学 (1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目　(d 参照)</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">基礎科目</td><td colspan="2">地域参加型学習</td><td>２単位</td><td colspan="2">医薬看連携地域参加型学習(2)</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">看護基礎</td><td>２単位</td><td colspan="2">基礎科学(2)</td></tr>
<tr><td>２単位</td><td colspan="2">家族社会学(2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="3">３０単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a　単位互換事業により他大学において修得した単位は、教授会の議を経て２単位まで修得科目の内容に応じて「大学特色科目」を除く一般教養科目のいずれかの区分に算入することができます。
b　外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp. 16を確認してください。
c　それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。
d　ボランティア科目（看護学部）は自由科目です。

### イ ３年次への進級要件

(1)教養教育については進級要件の定めがありませんが、専門教育では定められています。
専門教育における要件については看護学部「専門教育履修要項」を参照してください。
(2)２年次以降は専門科目の履修や各種実習にかかる時間的制約により、教養科目の再履修が非常に困難になるため、配当された学年・学期に確実に修得するよう心掛けてください。

## （８）総合生命理学部

### ア 修得必要単位数

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th colspan="3">科目区分ごとの最低修得必要単位数及び必修科目</th></tr>
<tr><td rowspan="9">共通科目</td><td rowspan="6">一般教養科目</td><td rowspan="2">大学特色科目</td><td rowspan="2">３単位</td><td>１単位</td><td>NCUﾗｰﾆﾝｸﾞ･ｺﾝﾊﾟｽ（1）</td><td rowspan="6">左記以外に２単位（a 参照）</td></tr>
<tr><td>２単位</td><td></td></tr>
<tr><td>現代社会の諸相</td><td colspan="3" rowspan="2">４単位</td></tr>
<tr><td>文化と人間性の探求</td></tr>
<tr><td>人間と自然</td><td colspan="3" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>自然と数理の探求</td></tr>
<tr><td>語学科目</td><td>英語</td><td colspan="4">６単位（b 参照）</td></tr>
<tr><td></td><td>その他の言語</td><td colspan="4">４単位（c 参照）</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報科目</td><td>２単位</td><td colspan="3">情報リテラシー（1）<br>データサイエンス・リテラシー（1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">健康・スポーツ科目</td><td>１単位</td><td colspan="3">健康・スポーツ科学（1）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボランティア科目（d 参照）</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="5">基礎科目</td><td colspan="2">物理学</td><td>２単位</td><td colspan="2"></td><td rowspan="5">左記以外に８単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">化学</td><td>２単位</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2">生物学</td><td>４単位</td><td colspan="2">基礎生物学(2)<br>生物学(2)</td></tr>
<tr><td colspan="2">自然科学実験</td><td>１単位</td><td colspan="2">自然科学実験(1)</td></tr>
<tr><td colspan="2">数学・統計学</td><td>２単位</td><td colspan="2">線形代数学Ⅰ(2)</td></tr>
<tr><td colspan="3">合　　計</td><td colspan="4">４１単位</td></tr>
</table>

※必修科目については各科目区分に科目名（単位数）を記載しています。
※自由科目の単位は修得必要単位数に含めることはできません。

a 教養教育科目の修得必要単位数（４１単位）を充たすためには、各科目区分の最低修得必要単位数のほか、一般教養科目の選択科目から２単位以上の修得が必要です。
　単位互換事業により他大学において単位を修得した場合は、教授会の議を経て２単位まで、修得科目の内容に応じて上記に示した区分に算入することができます。

b 外部機関が実施する検定試験(実用英語技能検定、TOEIC、TOEFL)の獲得点数に基づいて、英語科目の単位として最大４単位まで認定を受けることができます。詳細はp.16を確認してください。

c それぞれの母語を履修して「その他の言語」の卒業必要単位とすることはできません。

d ボランティア科目（総合生命理学部）は自由科目です。

### イ　３年次への進級要件

２年次終了時において、アに定める修得必要単位４１単位のうち以下の必修科目を含む３７単位以上を修得していない者は３年次に進級できません。

NCU ラーニング・コンパス(1)、情報リテラシー（1)、データサイエンス・リテラシー（1)、
健康・スポーツ科学(1)、基礎生物学(2)、生物学(2)、自然科学実験(1)、線形代数学Ⅰ(2)

# 7 Self-Access Learning Opportunities

## What is "IOC"?

"IOC" stands for **Individual Online Consultations** —an online English learning service just for you! Whether you want to boost your English skills or need extra support after your liberal arts English classes, IOC is here to help you.

With IOC, you can make an appointment for 20-minute, one-on-one sessions with an NCU language instructor to receive individualized support and guidance in English.

IOC is open to all NCU students eager to improve their English proficiency, no matter your year, department, or campus.

Appointments are offered at various times to fit into your schedule and can be conducted conveniently online through Zoom or in persons. All you have to do is reserve your appointment on LiveCampus and bring the topic you want to discuss!

オンラインで語学講師と相談できる「IOC」も開設されています。予約方法など詳細は以下の URL の「WELCOME TO INDIVIDUAL ONLINE CONSULTATIONS (IOC)」を参考にしてください。

IOC関係ページURL：https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/ioc.html ⟶

**********

## What is the Self-Access Learning Center (SALC)?

The Self-Access Learning Center (SALC) isn't just another classroom—it's a special place on campus where you can learn English in a fun and relaxed way! Located in Building 2, Room 309, the SALC is like your cozy language learning hub.

In the SALC, there are lots of useful things to help you learn English. We've got a variety of devices, books, movies and games for all kinds of learners. You can use SALC for workshops or study sessions, watching English movies, or practicing speaking with other students.

## Why Use the SALC?

***Meet new Friends!***

***Improve Your English!***

**Have Fun Learning!**

⟵ SALC 関係ページ URL：https://ade.nagoya-cu.ac.jp/lc/salc.html
場所：滝子キャンパス２号館３０９教室

# 8　暴風警報発令時等の緊急時における授業･試験の対応について

## 1　暴風警報・暴風雪警報発令時における授業・試験について

名古屋地方気象台から、「愛知県西部」又は「尾張東部、尾張西部、知多地域、西三河南部、西三河北西部のいずれかの区域」又は「名古屋市」に暴風警報・暴風雪警報が発令された場合の授業・試験についての取り扱いは、以下のとおりとします。

◎所属学部・研究科又は担当教員から特別な指示がある場合は、この限りではありません。
◎電話での問い合わせは受け付けませんので、ラジオ・テレビ等の報道で確認のうえ、各自判断して下さい。

（1）授業・試験の開始前に発令された場合

| 区　分<br>解除の時刻 | 休講または試験が<br>中止となる時限 | 授業または<br>試験を行う時限 |
|---|---|---|
| 午前 7 時まで | なし（開講します） | 通常どおり |
| 午前 7 時から午前 10 時まで | 第 1 時限及び第 2 時限 | 第 3 時限以降 |
| 午前 10 時すぎ | 当日実施予定の全ての時限 | 実施しません |

（2）　授業・試験の開始後に発令された場合

原則として授業は休講とし、試験は中止としますが、状況によっては続行することもあります。

なお、中止となった試験については、教務企画室の指示に従って下さい。

（3）居住地または通学経路内に発令された場合

居住地又は通学経路内に発令されている間は、登校しないで下さい。

ただし、愛知県西部、尾張東部、尾張西部、知多地域、西三河南部、西三河北西部、名古屋市のいずれにも発令されていなければ、授業・試験は通常どおり行われています。

これに該当し、授業・試験を欠席する学生は、「特別欠席届」を後日すみやかに教務企画室に提出するなど所定の手続きを行って下さい。欠席した日の気象状況については、日本気象協会ホームページの警報発表履歴で確認します。

（4）その他の気象警報が発令された場合

暴風警報・暴風雪警報に限らず、その他の気象警報（大雨警報、大雪警報等）発令時において、学長、副学長等が必要と判断した場合は、授業・試験を中止することがあります。その場合の学生への周知は、大学ホームページやポータルサイトより行います。

## 2 公共交通機関運休時の対応について

（1）大雨・強風・大雪等の気象状況による公共交通機関の運休の場合

通学経路に係る公共交通機関が運休している場合、無理な登校はしないで下さい。

ただし、愛知県西部、尾張東部、尾張西部、知多地域、西三河南部、西三河北西部、名古屋市のいずれにも暴風警報・暴風雪警報が発令されていなければ、授業・試験は通常どおり行われています。

これに該当し授業・試験を欠席する学生は、「特別欠席届」を後日すみやかに学部事務室等へ提出するなど所定の手続きを行って下さい。その場合、運休の事実を証明する書類が必要となります。

（2）交通ストの場合

名古屋市営交通、東海旅客鉄道（ＪＲ東海)、名古屋鉄道（名鉄）の３社のうち２社以上がストライキを行った場合の授業・試験の取り扱いは、前項１の（1）で掲げた表に準ずるものとします。

（3）その他の事由による公共交通機関の運休の場合

事故等により、公共交通機関が運休し、授業・試験に出席できなかった場合は、（1）に準じて教務企画室にて、所定の手続きを行って下さい。

## ３「南海トラフ地震に関する情報」が発表された場合における授業･試験等について

平成 29 年 11 月 1 日に「南海トラフ地震に関連する情報」の運用が開始され、これに伴い、現在、東海地震のみに着目した「東海地震に関連する情報」の発表は行われなくなりました。

授業等の実施中に「南海トラフ地震に関する情報」が発表された場合は、大学からの指示に従って行動してください。また、登校前や登校途中の場合は、安全な場所で待機するとともに各自で情報収集に努め、安全を確保してください。

**〔参考〕南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件（気象庁ホームページ）**

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

| 情報の種類 | 情報の発表条件 |
|---|---|
| 南海トラフ地震に関連する情報（臨時） | ・南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合<br>・観測された現象を調査した結果、南海トラフ地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合<br>・観測された現象を調査した結果、南海トラフ地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではないと評価された場合 |
| 南海トラフ地震に関連する情報（定例） | ・「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合 |

○本情報の運用開始に伴い、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関連する情報）の発表は行っていません。

○南海トラフ沿いで異常な現象が観測されず、本情報の発表がないまま、突発的に南海トラフ地震が発生することもあります。

〔参考〕地震発生時の行動について

名古屋市立大学滝子キャンパス「ポケット防災」（滝子キャンパス自主防災委員会作成）

# ９　2024年度　教養教育時間割

## 時間割（A表）に関する補足

◇　授業時間

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1時限 | 9:00～10:30 | 4時限 | 14:40～16:10 |
| 2時限 | 10:40～12:10 | 5時限 | 16:20～17:50 |
| 3時限 | 13:00～14:30 | | |

◇　クラス記号

| | | | |
|---|---|---|---|
| 医学部 | M１・２ | 芸術工学部 | |
| 薬学部 | | 情報環境ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科 | AT１ |
| 薬学科 | P１ | 産業ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ学科 | AT２ |
| 生命薬科学科 | P２ | 建築都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科 | AT３ |
| 経済学部 | E１・２・３・４ | 看護学部 | N１・２・３ |
| 人文社会学部 | | 総合生命理学部 | S１ |
| 心理教育学科 | H１ | | |
| 現代社会学科 | H２ | | |
| 国際文化学科 | H３ | | |

◇　学番区分　　同一学科・クラス内で学籍番号を基に「前半」「後半」に区分したクラス

◇　キャンパス

| | |
|---|---|
| 無印/滝： | 滝子キャンパス |
| 桜： | 桜山キャンパス |
| 田： | 田辺通キャンパス |
| 北： | 北千種キャンパス |
| 網かけ | 滝子キャンパス以外で授業が行われる時間帯 |

◇　赤字　　必修又は必修に準ずる科目のうち、大学で履修登録を行う科目

薬学部

「数学」は各学科学籍番号の前半、後半でクラス分けを行います。
クラス分けは学務情報システムでお知らせします。

経済学部

「数学」「統計学A」は必修科目に準じ、大学で一括登録します。
履修を希望しない場合は各学期の履修登録期間に教務企画室窓口に申し出てください。

## 時間割（B表）に関する補足

◇　開講時期

・ 前半/後半： 学期（全16回）を〔前半〕〔後半〕に分けて開講する科目
　英語科目（1単位）　　前半①～⑧回　　後半⑨～⑯回

◇　講義室について　　建物（棟）番号 - 教室番号

滝子キャンパス
　1: 1号館　　2: 2号館　　3: 3号館　　4: 4号館　　5: 5号館　　6: 6号館(総合情報C)
川澄キャンパス（看護）: N***　　北千種キャンパス: M***

【前期】

## 2024年度　教養教育科目　時間割(A表)

| 学部 | クラス | 学番区分 | 月 1 | 月 2 | 月 3 | 月 4 | 火 1 | 火 2 | 火 3 | 火 4 | 水 1 | 水 2 | 水 3 | 水 4 | 木 1 | 木 2 | 木 3 | 木 4 | 金 1 | 金 2 | 金 3 | 金 4 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医学 | M1 | | 一般教養／その他の言語 | 一般教養／その他の言語 | 一般教養／英語 | 一般教養／英語 | コンパス 健ス | 数学 | 生物 | 英語 | 物理 | 数学 | 情報 期間前半（桜） | | 一般教養 英語 | 一般教養 英語 | 英語 | 英語 | 地域連携（桜） | | 一般教養 | 一般教養 |
| 医学 | M2 | | | | | | 数学 | コンパス 健ス | | | | | 情報 期間前半（桜） | | | | | | | | | |
| 薬学 | P1 | 前半 | | | | | 化学 | 物理 | 英語 生物 | 英語 | 数学 | | 健ス コンパス | | | | | | 地域連携（桜） | | | |
| 薬学 | P1 | 後半 | | | | | | | | | | | | 健ス コンパス | | | | | | | | |
| 薬学 | P2 | 前半 | | | | | | | | | | | 健ス コンパス | | | | | | 早期休験（田辺） | | | |
| 薬学 | P2 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済 | E1 | | | | | | | | 英語 | 英語 | 英語 | | | 数学 | 一般教養／英語 | 一般教養／英語 | 英語 | 統計 | 数学 | 健ス コンパス | 一般教養 | 一般教養 |
| 経済 | E2 | | | | | | | | | | | | 数学 | 健ス コンパス | | | 統計 | 英語 | | 数学 | | |
| 経済 | E3 | | | | | | | | | | | | 数学 | 健ス コンパス | | | 英語 | 統計 | 数学 | | | |
| 経済 | E4 | | | | | | | | | | | | 健ス コンパス | 数学 | | | 統計 | 英語 | | 数学 | | |
| 人社 | H1 | | | | | | | コンパス 健ス | 英語 | 英語 | 英語 | | | | | | 英語 | 英語 | | | | |
| 人社 | H2 | | | | | | コンパス 健ス | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人社 | H3 | 前半 | | | | | コンパス 健ス | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人社 | H3 | 後半 | | | | | | コンパス 健ス | | | | | | | | | | | | | | |
| 芸工 | AT1 | | | | | | 数学 | 数学 | 英語 | 英語 | | 情報（北） | | | | | 英語 | コンパス 健ス | | | | |
| 芸工 | AT2 | | | | | | | | | | | | | | | | コンパス 健ス | 英語 | | | | |
| 芸工 | AT3 | 前半 | | | | | 数学 | 数学 | | | | 情報（北） | | | | | コンパス 健ス | 英語 | | | | |
| 芸工 | AT3 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | コンパス 健ス | 英語 | | | | |
| 看護 | N1 | | | | | | | | 英語 | 英語 | | | | | | | コンパス 健ス | 英語 | 地域連携（桜） | | 一般教養 | 一般教養 |
| 看護 | N2 | | | | | | | | | | | | | | | | 英語 | コンパス 健ス | | | | |
| 看護 | N3 | | | | | | | | | | | | | | | | 英語 | コンパス 健ス | | | | |
| 理学 | S1 | | | | | | 化学 | 物理 | 生物 | 英語 | 数学 | | | | | | 英語 | 英語 | 化学 | 健ス コンパス | | |

【後期】

## 2024年度　教養教育科目　時間割(A表)

| 学部 | クラス | 学番区分 | 月 1 | 月 2 | 月 3 | 月 4 | 火 1 | 火 2 | 火 3 | 火 4 | 水 1 | 水 2 | 水 3 | 水 4 | 木 1 | 木 2 | 木 3 | 木 4 | 金 1 | 金 2 | 金 3 | 金 4 | 金 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 医学 | M1 | | 一般教養／その他の言語 | 一般教養／その他の言語 | 地域連携（桜） | | 生物 | 化学 化学 | 物理 | 英語 | 英語 物理 | 英語 数学 | 自然科学実験 数学 | 自然科学実験 | 一般教養／英語 | 一般教養／英語（【経・人・理】統計学B） | 英語 | 英語 | | | 一般教養 | 一般教養 | 一般教養 |
| 医学 | M2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬学 | P1 | 前半 | | | 地域連携（桜） | | 生物 | | 物理 | 英語 | 英語 | 英語 数学 | 数学 | | | | 自然科学実験 | | | | | | |
| 薬学 | P1 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬学 | P2 | 前半 | | | 英語 | 地域連携参加型学習（経・人・芸）／一般教養／英語 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 薬学 | P2 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済 | E1 | | | | | | 数学 | | 英語 | 英語 | 英語 | 英語 | | | | | 英語 | 英語 | 数学 | | 一般教養 | 一般教養 | 一般教養 |
| 経済 | E2 | | | | | | | 数学 | | | | | | | | | | | | 数学 | | | |
| 経済 | E3 | | | | | | 数学 | | | | | | | | | | | | 数学 | | | | |
| 経済 | E4 | | | | | | | 数学 | | | | | | | | | | | | 数学 | | | |
| 人社 | H1 | | | | | | | | 英語 | 英語 | 英語 | 英語 | | | | | 英語 | 英語 | | | | | |
| 人社 | H2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人社 | H3 | 前半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人社 | H3 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 芸工 | AT1 | | | | | | 数学 | 数学 | 英語 | 英語 | | | | | | | 英語 | 英語 | | | | | |
| 芸工 | AT2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 芸工 | AT3 | 前半 | | | | | 数学 | 数学 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 芸工 | AT3 | 後半 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 看護 | N1 | | | | 地域連携（桜） | | | | | | | | | | | | 英語 | 英語 | | | 一般教養 | 一般教養 | 一般教養 |
| 看護 | N2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 看護 | N3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 理学 | S1 | | | | | 一般教養／英語 | 生物 | 化学 | 物理 | 英語 | 英語 物理 | 英語 数学 | 自然科学実験 | | | | 英語 | 英語 | | | | | |

## 2024年度　教養教育科目　時間割(B表)

**前期**

○ 履修できる科目や単位の修得要件については「教養教育履修要項(p.20～)」や各学部の履修規程を参照してください。

※抽選定員が空欄でないものは抽選科目

月曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | キャリアデザインA | 01 | 2 | | 髙石　鉄雄 | 2-207 | |
| 共通現代 | 140 | 国民所得はどう決まるか？ | | 2 | | 岡野　衛士 | 2-405 | |
| 共通文化 | 140 | 都市と地域構造の地理学 | 01 | 2 | | 阿部　和俊 | 2-403 | |
| 共通自然 | 140 | データサイエンスへの誘い | 01 | 2 | | 横山　清子　　他 | 2-404 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 11 | 2 | | 前田　織絵 | 2-203 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 12 | 2 | | 山村　比鶴 | 2-201 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 13 | 2 | | 高須　万祐子 | 1-204 | |
| 他言語 | | フランス語初級１ | 10 | 2 | | 棚橋　美知子 | 2-302 | |
| 他言語 | | フランス語初級１ | 30 | 2 | | 松浦　宏信 | 2-306 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 10 | 2 | | 程　凱 | 2-202 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 11 | 2 | | 方　暁娟 | 2-209 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 12 | 2 | | 顧　彬楠 | 2-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 13 | 2 | | 陶　雪迎 | 2-208 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 14 | 2 | | 史　念 | 2-206 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 10 | 2 | | 宮本　桃子 | 2-402 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 11 | 2 | | 李　廷 | 2-305 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 12 | 2 | | 鄭　在恩 | 2-103 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 10 | 2 | | ロハス | 1-309 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 11 | 2 | | ブストス | 2-102 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 12 | 2 | | レニン | 2-AL（303） | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 10 | 2 | | 藤井　えり子 | 2-205 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 11 | 2 | | 北村　奈緒子 | 2-104 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 30 | 2 | | 清水　環 | 2-307 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 31 | 2 | | 和田　晴子 | 2-204 | |
| 他言語 | | ポルトガル語入門 | 30 | 2 | | 畑田　レイコ | 1-301 | |
| 他言語 | | ロシア語入門 | 30 | 2 | | ダツェンコ | 1-207 | |
| 他言語 | | アラビア語入門 | 30 | 2 | | サリエディン | 1-310 | |
| 他言語 | | 日本語上級１ | 10 | 2 | | 西川　賢子 | 3-202 | |

月曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | キャリアデザインA | 02 | 2 | | 髙石　鉄雄 | 2-207 | |
| 共通特色 | 140 | ＳＤＧｓを考える：医療系 | | 2 | | 未定 | 2-404 | |
| 共通現代 | 140 | 日本国憲法 | 01 | 2 | | 小林　直三 | 2-405 | |
| 共通現代 | 140 | ゲーム的状況を科学する | | 2 | | 濱口　泰代 | 2-403 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 15 | 2 | | 山村　比鶴 | 2-201 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 16 | 2 | | 高須　万祐子 | 1-204 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 30 | 2 | | 前田　織絵 | 2-203 | |
| 他言語 | | フランス語初級１ | 11 | 2 | | 吉永　和加 | 2-306 | |

月曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他言語 | | フランス語初級１ | 12 | 2 | | 棚橋　美知子 | 2-302 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 15 | 2 | | 程　凱 | 2-202 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 16 | 2 | | 方　暁娟 | 2-209 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 17 | 2 | | 顧　彬楠 | 2-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 18 | 2 | | 陶　雪迎 | 2-208 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 19 | 2 | | 史　念 | 2-206 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 13 | 2 | | 宮本　桃子 | 2-402 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 14 | 2 | | 李　廷 | 2-305 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 30 | 2 | | 鄭　在恩 | 2-103 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 13 | 2 | | ロハス | 1-309 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 14 | 2 | | ブストス | 2-102 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 30 | 2 | | レニン | 2-AL（303） | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 12 | 2 | | 藤井　えり子 | 2-205 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 13 | 2 | | 北村　奈緒子 | 2-104 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 32 | 2 | | 清水　環 | 2-307 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 33 | 2 | | 和田　晴子 | 2-204 | |
| 他言語 | | イタリア語入門 | 30 | 2 | | ｶｽﾃｨﾘｮｰﾆ ｱﾝﾄﾞﾚｱ | 1-301 | |
| 他言語(*) | | 日本語リーディング・リスニング１ | 10 | 2 | | 西川　賢子 | 3-202 | |

月曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通文化 | 140 | 人類学 | 01 | 2 | | 愛葉　由依 | 2-405 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | A1 | 1 | 前半 | バックウェル | 2-305 | 学期(前半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | A1 | 1 | 前半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | A2 | 1 | 前半 | 神原　ジュディス | 2-307 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | A1 | 1 | 前半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | A1 | 1 | 前半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | A2 | 1 | 前半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | A1 | 1 | 前半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | B1 | 1 | 後半 | バックウェル | 2-305 | 学期(後半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | B1 | 1 | 後半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | B2 | 1 | 後半 | 神原　ジュディス | 2-307 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | B1 | 1 | 後半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | B1 | 1 | 後半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | B2 | 1 | 後半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | B1 | 1 | 後半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 90 | CS: Grammar and Usage | G1 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 12 | 2 | | 杉浦　克哉 | 1-202 | 各クラス定員30名 |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 13 | 2 | | 小宮　富子 | 2-306 | |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 14 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |

月曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 150 | CS: TOEIC Preparation | T1 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス 各クラス定員30名 |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 11 | 2 | | 佐々木　恭介 | 2-206 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 12 | 2 | | 市川　新剛 | 6-201 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 13 | 2 | | 枚田　祐子 | 2-103 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 14 | 2 | | 梶浦　眞由美 | 2-301 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 15 | 2 | | 吉村　愛子 | 2-402 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 11 | 2 | | 市川　哲 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 11 | 2 | | 冨田　江理子 | 2-AL（303） | |

月曜４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 50 | 持続可能な社会と私たち | | 2 | | 曽我　幸代 | 2-AL（303） | |
| 共通現代 | 140 | なぜ憲法が必要なのか | | 2 | | 日比　拓也 | 2-404 | |
| 共通文化 | 140 | 人類学 | 02 | 2 | | 愛葉　由依 | 2-405 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | A2 | 1 | 前半 | バックウェル | 2-305 | 学期(前半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | A3 | 1 | 前半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | A4 | 1 | 前半 | 神原　ジュディス | 2-307 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | A2 | 1 | 前半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | A3 | 1 | 前半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | A4 | 1 | 前半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | A3 | 1 | 前半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | B2 | 1 | 後半 | バックウェル | 2-305 | 学期(後半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | B3 | 1 | 後半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | B4 | 1 | 後半 | 神原　ジュディス | 2-307 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | B2 | 1 | 後半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | B3 | 1 | 後半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | B4 | 1 | 後半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | B3 | 1 | 後半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 90 | CS: Grammar and Usage | G2 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス 各クラス定員30名 |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 22 | 2 | | グレッグ | 2-209 | |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 23 | 2 | | 小宮　富子 | 2-306 | |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 24 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |
| 英語 | 120 | CS: TOEIC Preparation | T2 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス 各クラス定員30名 |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 21 | 2 | | 佐々木　恭介 | 2-206 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 22 | 2 | | 市川　新剛 | 6-201 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 23 | 2 | | 枚田　祐子 | 2-103 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 25 | 2 | | 吉村　愛子 | 2-402 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 11 | 2 | | 毛利　雅子 | 1-207 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 11 | 2 | | 川本　徹 | 2-104 | |

火曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 11 | 1 | 前半 | 山田　勉　他 | 2-404 | M1/H2・H3(前) |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 51 | 1 | 後半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | M1/H2・H3(前) |
| 基化学 | | 化学概論 | 20 | 2 | | 櫻井　宣彦 | 2-405 | 薬 |
| 基化学 | | 化学熱力学基礎 | 27 | 2 | | 熊澤　慶伯 | 2-403 | 薬/理 |
| 基数学 | | 線形代数学I | 12 | 2 | | 江澤　樹 | 2-208 | Ｍ２ |
| 数学 | | 線形代数基礎 | 51 | 2 | | 野崎　浩成 | 2-402 | AT1・2 |
| 数学 | | 微分積分基礎 | 52 | 2 | | 宮原　孝夫 | 3-301 | AT3 |

火曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 12 | 1 | 前半 | 山田　勉　他 | 2-404 | M2/H1・H3(後) |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 52 | 1 | 後半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | M2/H1・H3(後) |
| 基物理 | | 物理学基礎 | 27 | 2 | | 秦　和弘 | 2-401 | 薬/理 |
| 基物理 | | 力学 | 27 | 2 | | 青柳　忍 | 2-405 | 薬/理 |
| 基数学 | | 線形代数学I | 11 | 2 | | 立木　寿人 | 2-208 | Ｍ１ |
| 数学 | | 線形代数基礎演習 | 51 | 1 | | 野崎　浩成 | 2-402 | AT1・2 |
| 数学 | | 微分積分基礎演習 | 52 | 1 | | 宮原　孝夫 | 3-301 | AT3 |

火曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 11 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 12 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 13 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 14 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 15 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 16 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 21 | 2 | | 冨田　江理子 | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 21 | 2 | | 高橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 23 | 2 | | カブレラ | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 21 | 2 | | 石田　知美 | 2-CAL(304) | |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学 | | 2 | | 髙石　鉄雄　他 | 2-207 | |
| 基生物 | | 基礎生物学 | 17 | 2 | | 湯川　泰 | 2-404 | 医/理 |
| 基生物 | | 生物学基礎 | 20 | 2 | | 木村　幸太郎 | 2-403 | 薬 |

火曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 21 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 22 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 23 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 24 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 25 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-205 | |

火曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 15 | CS: Writing | 21 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 22 | 2 | | 冨田　江理子 | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 22 | 2 | | 髙橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 24 | 2 | | カブレラ | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 23 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 22 | 2 | | 石田　知美 | 2-CAL(304) | |
| 他言語(*) | | 日本語プレゼンテーション１ | 10 | 2 | | 久野　伊津子 | 2-102 | |

水曜１限　※他言語(*)は、「他言語」の修得必要単位として算入できません。

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 31 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 32 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 33 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 15 | CS: Writing | 22 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 31 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 他言語(*) | | ドイツ語初級会話１ | 10 | 2 | | 村元　麻衣 | 2-307 | |
| 他言語(*) | | 中国語初級会話１ | 10 | 2 | | 林　佩芬 | 2-104 | |
| 他言語(*) | | 日本語レポート作成１ | 10 | 2 | | 加藤　万里 | 2-103 | |
| 基物理 | | 力学 | 10 | 2 | | 徳光　昭夫 | 5-470 | 医 |
| 基数学 | | 線形代数学I | 27 | 2 | | 鎌田　直子 | 2-405 | P1(前)・2(前)/理 |
| 基数学 | | 線形代数学I | 28 | 2 | | 河田　成人 | 2-401 | P1(後)・2(後)/理 |

水曜2限　※他言語(*)は、「他言語」の修得必要単位として算入できません。

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他言語(*) | | 中国語初級会話１ | 11 | 2 | | 林　佩芬 | 2-104 | |
| 他言語(*) | | 日本語ライティング１ | 10 | 2 | | 加藤　万里 | 2-103 | |
| 他言語(*) | | 日本語ライティング１ | 20 | 2 | | 吉田　千寿子 | 2-102 | |
| 共通情報 | | デジタル表現基礎 | | 1 | | 向口　武志　他 | M101 | |
| 基数学 | | 微分積分学 | 10 | 2 | | 田中　豪 | 5-470 | 医 |

水曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 53 | 1 | 後半 | 山田　勉　他 | 2-404 | P1(前)/P2/E4 |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 13 | 1 | 前半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | P1(前)/P2/E4 |
| 基数学 | | 数学Ｂ１ | 32 | 2 | | 杁山　公徳 | 2-401 | E２ |
| 基数学 | | 数学Ｂ１ | 33 | 2 | | 立木　寿人 | 2-403 | E３ |
| 基礎看護 | | 基礎科学 | | 2 | | 窪田　泰江　他 | ＮＡ２０６ | 看 |

水曜３・４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通情報 | | 医療統計学基礎 | 10 | 1 | | 西山　毅　他 | 情報処理演習室 | 医 |

水曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 54 | 1 | 後半 | 山田　勉　他 | 2-404 | P1(後)/E2・3 |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 14 | 1 | 前半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | P1(後)/E2・3 |
| 基数学 | | 数学Ｂ１ | 31 | 2 | | 杁山　公徳 | 2-401 | E１ |
| 基数学 | | 数学Ｂ１ | 34 | 2 | | 立木　寿人 | 2-403 | E４ |

木曜1限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ＳＤＧｓを考える：社会科学系 | | 2 | | 未定 | 2-404 | |
| 共通現代 | 140 | 公共政策：健康と暮らしの社会科学 | | 2 | | 澤野　孝一朗 | 2-405 | |
| 共通人間 | 50 | 動物とヒトの進化多様性 | | 2 | | 熊澤　慶伯　他 | 2-403 | |
| 共通人間 | 50 | 都市と自然 | | 2 | | 大野　暁彦　他 | 2-AL（303） | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 11 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 13 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 15 | AE: Interact Internationally | 11 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 11 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 12 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-402 | |
| 英語 | 15 | AE: Raise Health/Environmental Awareness | 11 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 15 | AE: Produce a Movie | 11 | 2 | | フォード | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 42 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 41 | 2 | | カブレラ | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 42 | 2 | | スウィートラブ | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 41 | 2 | | グレッグ | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 41 | 2 | | 吉枝　恵 | 2-205 | |
| 他言語(*) | | フランス語初級会話１ | 10 | 2 | | 西野　オーレリ | 2-307 | |

木曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ＳＤＧｓを考える：数理情報系 | | 2 | | 未定 | 2-404 | |
| 共通特色 | 100 | 名古屋市政を通してみる現代社会の諸問題 | | 2 | | 三浦　哲司 | 2-405 | |
| 共通現代 | 140 | 人間の行動・心理と建築 | | 2 | | 佐藤　泰　他 | 2-403 | |
| 共通文化 | 140 | 自分とみんなで考える哲学 | | 2 | | 伊藤　恭彦 | 2-207 | |
| 共通自然 | 140 | 植物とバイオテクノロジー | | 2 | | 木藤　新一郎 | 5-470 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 12 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 14 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 15 | AE: Interact Internationally | 13 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 13 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 14 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-402 | |
| 英語 | 15 | AE: Raise Health/Environmental Awareness | 12 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 15 | AE: Produce a Movie | 12 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 44 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 43 | 2 | | カブレラ | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 44 | 2 | | スウィートラブ | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 42 | 2 | | グレッグ | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 42 | 2 | | 吉枝　恵 | 2-205 | |

木曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 15 | 1 | 前半 | 山田　勉　他 | 2-404 | AT2・3/N1 |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 55 | 1 | 後半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | AT2・3/N1 |
| 英語 | 20 | EM: World News | 45 | 2 | | 真野　早苗 | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 45 | 2 | | 髙橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 46 | 2 | | ハナ | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 43 | 2 | | 中平　里実 | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 43 | 2 | | 中山　麻衣子 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 44 | 2 | | ヒガ | 2-201 | |
| 基統計 | | 統計学Ａ | 32 | 2 | | 成田　知将 | 2-405 | Ｅ２ |
| 基統計 | | 統計学Ａ | 34 | 2 | | 鈴木　善幸 | 2-403 | Ｅ４ |

木曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 16 | 1 | 前半 | 山田　勉　他 | 2-404 | AT1/N2・3 |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 56 | 1 | 後半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | AT1/N2・3 |
| 英語 | 20 | EM: World News | 46 | 2 | | 真野　早苗 | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 47 | 2 | | 髙橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 48 | 2 | | ハナ | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 44 | 2 | | 中平　里実 | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 45 | 2 | | 中山　麻衣子 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 46 | 2 | | ヒガ | 2-201 | |
| 基統計 | | 統計学Ａ | 31 | 2 | | 中村　篤 | 2-403 | Ｅ１ |
| 基統計 | | 統計学Ａ | 33 | 2 | | 成田　知将 | 2-405 | Ｅ３ |

金曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基化学 | | 化学基礎 | 71 | 2 | | 片山　詔久 | 2-402 | 理 |
| 基数学 | | 数学Ａ１ | 31 | 2 | | 加納　成男 | 2-401 | Ｅ１ |
| 基数学 | | 数学Ａ１ | 33 | 2 | | 成田　知将 | 2-403 | Ｅ３ |

金曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | | ＮＣＵラーニング・コンパス | 57 | 1 | 後半 | 山田　勉　他 | 2-404 | Ｅ１/理 |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ科学（１単位） | 17 | 1 | 前半 | 髙石　鉄雄　他 | 2-404 | Ｅ１/理 |
| 基数学 | | 数学Ａ１ | 32 | 2 | | 森本　宏 | 2-403 | Ｅ２ |
| 基数学 | | 数学Ａ１ | 34 | 2 | | 加納　成男 | 2-401 | Ｅ４ |

金曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 50 | 多文化共生と国際貢献 | | 2 | | 今川　隆　他 | 2-AL（303） | |
| 共通文化 | 140 | 音楽と文化 | | 2 | | 古賀　弘之 | 2-207 | |
| 共通文化 | 100 | デザインと情報 | | 2 | | 森　旬子　他 | 2-405 | |
| 共通文化 | 140 | 世界を理解するための宗教学 | | 2 | | 吉田　一彦 | 2-404 | |
| 共通人間 | 140 | 環境と社会・制度・政治・経済 | | 2 | | 松野　正太郎 | 2-401 | |

金曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | 地域社会で活躍する女性 | | 2 | | 窪田　泰江　他 | 2-405 | |
| 共通文化 | 140 | 文化に見る歴史 | | 2 | | 川戸　貴史 | 2-402 | |
| 共通文化 | 140 | アメリカ史入門 | 01 | 2 | | 柳澤　幾美 | 2-208 | |
| 共通人間 | 140 | 環境科学 | 01 | 2 | | 中島　寛則　他 | 2-403 | |
| 共通人間 | 140 | 社会と医学 | | 2 | | 上島　通浩　他 | 2-401 | |
| 共通自然 | 140 | 教養として知っておきたい様々な病気の実態 | 01 | 2 | | 酒々井　眞澄　他 | 2-207 | |
| 共通自然 | 140 | 創薬と生命 | | 2 | | 肥田　重明　他 | 2-404 | |
| 共通自然 | 70 | 地球史入門 | 01 | 2 | | 井上　恵介 | 2-AL（303） | |
| 他言語(*) | | 日本語ディスカッション１ | 10 | 2 | | 吉田　千寿子 | 2-102 | |

時間割外　【前期】

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通情報 | | 情報リテラシー | | 1 | | 渡邊　裕司　他 | ____ | |

【通年】

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎地域 | | 医薬看連携地域参加型学習 | | 2 | | 高桑　修　他 | ____ | 医/薬(薬)/看<br>前期　金1・2<br>後期　月3・4 |
| 基礎地域 | | 生命薬科学研究入門 | | 2 | | 白根　道子　他 | ____ | 薬(生命)<br>前期　金1・2<br>後期　時間外 |

集中講義　【前期】

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ＳＤＧｓを考える：自然系 | Z1 | 2 | | 髙石　鉄雄 | 2-207 | |
| 共通特色 | 30 | 次世代エネルギーワークショップ | Z1 | 2 | | 鵜飼　宏成 | 2-AL（303） | |
| 共通現代 | 140 | 国際政治 | 01 | 2 | | 阿部　亮子 | | |
| 共通文化 | 140 | 人間と表現 | Z1 | 2 | | 針貝　綾　他 | 2-207 | |
| 共通人間 | 40 | 植物の多様性と環境 | Z1 | 2 | | 木藤　新一郎　他 | 2-401 | |
| 共通人間 | 140 | 健康と生活 | Z1 | 2 | | 尾崎　康彦　他 | 2-404 | |
| 共通人間 | 35 | 行動生態学 | Z1 | 2 | | 村瀬　香 | 5-270（生物学） | |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ実技 | Z1 | 1 | | 植屋　節子 | | 教職(看3年)優先 |

2024年度　教養教育科目　時間割(B表)

後期

月曜１限

※抽選定員が空欄でないものは抽選科目

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | キャリアデザイン（実践編） | 01 | 2 | | 鵜飼　宏成 | 2-401 | |
| 共通現代 | 140 | 現代社会と法 | | 2 | | 小林　直三 | 2-404 | |
| 共通現代 | 140 | はじめての経営学 | | 2 | | 出口　将人　　他 | 2-405 | |
| 共通文化 | 140 | キー・コンピテンシー | | 2 | | 山田　勉 | 2-403 | |
| 共通自然 | 140 | データサイエンスへの誘い | 02 | 2 | | 横山　清子　　他 | 2-207 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級２ | 51 | 2 | | 前田　織絵 | 2-203 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級２ | 52 | 2 | | 山村　比鶴 | 2-201 | |
| 他言語 | | フランス語初級１ | 70 | 2 | | 松浦　宏信 | 2-306 | |
| 他言語 | | フランス語初級２ | 50 | 2 | | 棚橋　美知子 | 2-302 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 70 | 2 | | 顧　彬楠 | 1-204 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 50 | 2 | | 程　凱 | 2-202 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 51 | 2 | | 方　暁娟 | 3-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 52 | 2 | | 未定 | 2-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 53 | 2 | | 陶　雪迎 | 2-208 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 54 | 2 | | 史　念 | 2-206 | |
| 他言語 | | 韓国語初級２ | 50 | 2 | | 宮本　桃子 | 3-202 | |
| 他言語 | | 韓国語初級２ | 51 | 2 | | 李　廷 | 2-305 | |
| 他言語 | | 韓国語初級２ | 52 | 2 | | 鄭　在恩 | 2-103 | |
| 他言語 | | スペイン語初級２ | 50 | 2 | | ロハス | 3-203 | |
| 他言語 | | スペイン語初級２ | 51 | 2 | | ブストス | 2-102 | |
| 他言語 | | スペイン語初級２ | 52 | 2 | | レニン | 2-AL（303） | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 70 | 2 | | 清水　環 | 2-307 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 71 | 2 | | 和田　晴子 | 2-204 | |
| 他言語 | | 日本手話初級２ | 50 | 2 | | 藤井　えり子 | 2-205 | |
| 他言語 | | 日本手話初級２ | 51 | 2 | | 北村　奈緒子 | 2-104 | |
| 他言語 | | ポルトガル語入門 | 70 | 2 | | 畑田　レイコ | 1-301 | |
| 他言語 | | ロシア語入門 | 70 | 2 | | ダツェンコ | 1-205 | |
| 他言語 | | アラビア語入門 | 70 | 2 | | サリエディン | 1-310 | |
| 他言語 | | 日本語上級２ | 50 | 2 | | 西川　賢子 | 3-202 | |

月曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ＳＤＧｓを考える：人文系 | | 2 | | 未定 | 2-404 | |
| 共通特色 | 140 | キャリアデザイン（実践編） | 02 | 2 | | 鵜飼　宏成 | 2-401 | |
| 共通現代 | 140 | 企業診断ＡＢＣ | | 2 | | 高橋　二朗　　他 | 2-403 | |
| 共通現代 | 140 | 社会学Ｃ | | 2 | | 馬渡　玲欧 | 2-207 | |
| 共通現代 | 40 | シティズンシップ入門 | | 2 | | 山田　勉 | 2-402 | |
| 共通文化 | 140 | 都市と地域構造の地理学 | 02 | 2 | | 阿部　和俊 | 2-405 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級１ | 70 | 2 | | 前田　織絵 | 2-203 | |
| 他言語 | | ドイツ語初級２ | 54 | 2 | | 山村　比鶴 | 2-201 | |

月曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他言語 | | フランス語初級２ | 51 | 2 | | 吉永　和加 | 2-306 | |
| 他言語 | | フランス語初級２ | 52 | 2 | | 棚橋　美知子 | 2-302 | |
| 他言語 | | 中国語初級１ | 71 | 2 | | 顧　彬楠 | 1-204 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 55 | 2 | | 程　凱 | 2-202 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 56 | 2 | | 方　暁娟 | 3-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 57 | 2 | | 未定 | 2-301 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 58 | 2 | | 陶　雪迎 | 2-208 | |
| 他言語 | | 中国語初級２ | 59 | 2 | | 史　念 | 2-206 | |
| 他言語 | | 韓国語初級１ | 70 | 2 | | 鄭　在恩 | 2-103 | |
| 他言語 | | 韓国語初級２ | 53 | 2 | | 宮本　桃子 | 3-202 | |
| 他言語 | | 韓国語初級２ | 54 | 2 | | 李　廷 | 2-305 | |
| 他言語 | | スペイン語初級１ | 70 | 2 | | レニン | 2-AL（303） | |
| 他言語 | | スペイン語初級２ | 53 | 2 | | ロハス | 3-203 | |
| 他言語 | | スペイン語初級２ | 54 | 2 | | ブストス | 2-102 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 72 | 2 | | 清水　環 | 2-307 | |
| 他言語 | | 日本手話初級１ | 73 | 2 | | 和田　晴子 | 2-204 | |
| 他言語 | | 日本手話初級２ | 52 | 2 | | 藤井　えり子 | 2-205 | |
| 他言語 | | 日本手話初級２ | 53 | 2 | | 北村　奈緒子 | 2-104 | |
| 他言語 | | イタリア語入門 | 70 | 2 | | ｶｽﾃｨﾘｮｰﾆ ｱﾝﾄﾞﾚｱ | 3-301 | |
| 他言語(*) | | 日本語リーディング・リスニング２ | 50 | 2 | | 西川　賢子 | 3-202 | |

月曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 51 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 53 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 15 | AE: Interact Internationally | 51 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 51 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 52 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-306 | |
| 英語 | 15 | AE: Raise Health/Environmental Awareness | 51 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 15 | AE: Produce a Movie | 51 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 90 | CS: Grammar and Usage | G3 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 52 | 2 | | 杉浦　克哉 | 2-402 | |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 53 | 2 | | 小宮　富子 | 2-104 | 各クラス |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 54 | 2 | | 岡田　百合 | 2-205 | 定員30名 |
| 英語 | 120 | CS: TOEIC Preparation | T3 | 2 | | （登録用） | | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 51 | 2 | | 佐々木　恭介 | 2-206 | 習熟度別クラス |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 52 | 2 | | 市川　新剛 | 6-201 | 各クラス |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 53 | 2 | | 枚田　祐子 | 2-103 | 定員30名 |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 54 | 2 | | スウィートラブ | 2-301 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 51 | 2 | | 市川　哲 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 51 | 2 | | 冨田　江理子 | 2-307 | |

月曜３・４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基礎地域 | | 医薬看連携地域参加型学習 | | 2 | | 高桑　修　　他 | | 医/薬(薬)/看 |
| 基礎地域 | | 地域連携参加型学習 | 01 | 2 | | 山本　奈央 | 2-207 | 経/人/芸 |
| 基礎地域 | | 地域連携参加型学習 | 02 | 2 | | 谷口　由希子 | 2-207 | |
| 基礎地域 | | 地域連携参加型学習 | 04 | 2 | | 大野　暁彦　　他 | 2-207 | |
| 基礎地域 | | 地域連携参加型学習 | 05 | 2 | | 佐藤　美弥 | 2-207 | |

月曜４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通文化 | 140 | 日本語コミュニケーション | | 2 | | 颯田　圭子 | 2-401 | |
| 共通文化 | 140 | 西洋の教育と哲学 | | 2 | | 吉永　和加　　他 | 2-404 | |
| 共通人間 | 140 | 健康と生活 | | 2 | | 山口　琴美　　他 | 2-405 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 52 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 15 | AE: Make a Difference in Your Community | 54 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 15 | AE: Interact Internationally | 53 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 53 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 15 | AE: Improve Life Skills | 54 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-306 | |
| 英語 | 15 | AE: Raise Health/Environmental Awareness | 52 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 15 | AE: Produce a Movie | 52 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 90 | CS: Grammar and Usage | G4 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 62 | 2 | | グレッグ | 2-302 | 各クラス 定員30名 |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 63 | 2 | | 小宮　富子 | 2-104 | |
| 英語 | * | CS: Grammar and Usage | 64 | 2 | | 岡田　百合 | 2-205 | |
| 英語 | 90 | CS: TOEIC Preparation | T4 | 2 | | （登録用） | | 習熟度別クラス |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 61 | 2 | | 佐々木　恭介 | 2-206 | 各クラス 定員30名 |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 62 | 2 | | 市川　新剛 | 6-201 | |
| 英語 | * | CS: TOEIC Preparation | 63 | 2 | | 枚田　祐子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 51 | 2 | | スウィートラブ | 2-301 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 51 | 2 | | 川本　徹 | 2-102 | |

火曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基生物 | | 生物学 | 01 | 2 | | 田上　英明 | 2-404 | 医/薬/理 |
| 基数学 | | 数学Ｂ２ | 31 | 2 | | 立木　寿人 | 2-405 | Ｅ１ |
| 基数学 | | 数学Ｂ２ | 33 | 2 | | 加納　成男 | 2-401 | Ｅ３ |
| 数学 | | 微分積分基礎 | 51 | 2 | | 江澤　樹 | 2-402 | AT1・2 |
| 数学 | | 線形代数基礎 | 52 | 2 | | 野崎　浩成 | 3-301 | AT3 |

火曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基化学 | | 有機化学 | 17 | 2 | | 雨夜　徹 | 2-404 | 医/理 |
| 基化学 | | 生体分子化学 | 10 | 2 | | 中務　邦雄 | 5-470 | 医 |
| 基数学 | | 数学Ｂ２ | 32 | 2 | | 立木　寿人 | 2-405 | Ｅ２ |
| 基数学 | | 数学Ｂ２ | 34 | 2 | | 加納　成男 | 2-401 | Ｅ４ |
| 数学 | | 微分積分基礎演習 | 51 | 1 | | 江澤　樹 | 2-402 | AT1・2 |
| 数学 | | 線形代数基礎演習 | 52 | 1 | | 野崎　浩成 | 3-301 | AT3 |

火曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 51 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 52 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 53 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 54 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 55 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-205 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 56 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 基物理 | | 電磁気学 | 01 | 2 | | 青柳　忍 | 5-470 | 医/薬/理 |

火曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 61 | 2 | | バックウェル | 2-305 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 62 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 63 | 2 | | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 64 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 65 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-205 | |
| 英語 | 15 | CS: Writing | 51 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 61 | 2 | | 冨田　江理子 | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 61 | 2 | | 高橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 62 | 2 | | カプレラ | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 62 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 61 | 2 | | 石田　知美 | 2-CAL(304) | |
| 他言語(*) | | 日本語プレゼンテーション２ | 50 | 2 | | 久野　伊津子 | 2-102 | |
| 基礎看護 | | 家族社会学 | | 2 | | 亀井　美穂 | N308 | 看 |

※他言語(*)は、「その他の言語」の修得必要単位として算入できません。

水曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 71 | 2 | | リン | 2-202 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 72 | 2 | | 神原　ジュディス | 2-201 | |
| 英語 | 20 | CS: Presentation | 73 | 2 | | フォード | 2-AL（303） | |
| 英語 | 15 | CS: Writing | 52 | 2 | | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 71 | 2 | | 川添　早久良 | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 71 | 2 | | カプレラ | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 71 | 2 | | サロンガ | 2-203 | |

水曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 他言語(*) | | ドイツ語初級会話２ | 50 | 2 | | 村元　麻衣 | 2-102 | |
| 他言語(*) | | 中国語初級会話２ | 50 | 2 | | 林　佩芬 | 2-104 | |
| 他言語(*) | | 日本語レポート作成２ | 50 | 2 | | 加藤　万里 | 2-103 | |
| 基物理 | | 波動・熱力学 | 17 | 2 | | 三浦　均 | 2-404 | 医/理 |

水曜2限　※他言語(*)は、「その他の言語」の修得必要単位として算入できません。

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | EM: World News | 72 | 2 | | 川添　早久良 | 2-306 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 72 | 2 | | カブレラ | 2-205 | |
| 他言語(*) | | 中国語初級会話２ | 51 | 2 | | 林　佩芬 | 2-104 | |
| 他言語(*) | | 日本語ライティング２ | 50 | 2 | | 加藤　万里 | 2-103 | |
| 他言語(*) | | 日本語ライティング２ | 60 | 2 | | 吉田　千寿子 | 2-102 | |
| 基数学 | | 線形代数学II | 01 | 2 | | 河田　成人 | 2-405 | 医/薬/理 |

水曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基数学 | | 微分積分学 | 21 | 2 | | 未定 | 2-401 | P1(前)・2(前) |
| 基数学 | | 微分積分学 | 22 | 2 | | 杁山　公徳 | 2-402 | P1(後)・2(後) |

水曜３・４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基実験 | | 自然科学実験 | 10 | 1 | | 青柳　忍　他 | 5-470 | 医 |
| 基実験 | | 自然科学実験 | 70 | 1 | | 青柳　忍　他 | 5-470 | 理 |

木曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ヘルシーライフ | | 2 | | 未定　他 | 2-403 | |
| 共通現代 | 140 | 日本国憲法 | 02 | 2 | | 松村　智史 | 2-404 | |
| 共通現代 | 140 | 人と法と医療 | 01 | 2 | | 山村　豊弘　他 | 2-401 | |
| 共通現代 | 70 | 社会科学のデータ分析 | | 2 | | 爲近　英恵　他 | 2-208 | |
| 共通現代 | 140 | 社会学Ａ | | 2 | | 大石　真澄　他 | 2-402 | |
| 共通現代 | 80 | 国際政治 | 02 | 2 | | 阿部　亮子 | 2-209 | |
| 共通文化 | 140 | 心理学概論 | | 2 | | 天谷　祐子 | 2-405 | |
| 共通自然 | 70 | 地域生態学 | | 2 | | 小木曽　学 | 2-306 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | C1 | 1 | 前半 | バックウェル | 2-305 | 学期(前半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | C1 | 1 | 前半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | C2 | 1 | 前半 | 神原　ジュディス | 2-102 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | C1 | 1 | 前半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | C1 | 1 | 前半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | C2 | 1 | 前半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | C1 | 1 | 前半 | フォード | 2-205 | |

木曜１限　※他言語(*)は、「その他の言語」の修得必要単位として算入できません。

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 25 | IS: Community | D1 | 1 | 後半 | バックウェル | 2-305 | 学期(後半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | D1 | 1 | 後半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | D2 | 1 | 後半 | 神原　ジュディス | 2-102 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | D1 | 1 | 後半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | D1 | 1 | 後半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | D2 | 1 | 後半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | D1 | 1 | 後半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: World News | 82 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 81 | 2 | | カブレラ | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 82 | 2 | | スウィートラブ | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 81 | 2 | | グレッグ | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 81 | 2 | | 吉枝　恵 | 2-301 | |
| 他言語(*) | | フランス語初級会話２ | 50 | 2 | | 西野　オーレリ | 2-307 | |

木曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | キャリアデザインＢ | | 2 | | 髙石　鉄雄 | 2-207 | |
| 共通特色 | 140 | 近世名古屋の歴史 | | 2 | | 千田　嘉博 | 2-405 | |
| 共通現代 | 70 | 知的財産権入門 | | 2 | | 日本弁理士会 | 2-208 | |
| 共通現代 | 120 | 新聞報道の現場から | | 2 | | 未定 | 2-404 | |
| 共通現代 | 40 | 平和論 | | 2 | | 平田　雅己　他 | 2-306 | |
| 共通現代 | 60 | 私たちの暮らしと政治・行政・地方自治 | | 2 | | 伊藤　恭彦 | 2-402 | |
| 共通文化 | 140 | 次世代育成と地域の課題 | | 2 | | 上田　敏丈　他 | 2-403 | |
| 共通人間 | 140 | 科学史 | | 2 | | 小川　眞里子 | 2-401 | |
| 共通自然 | 50 | 情報と数理の世界 | | 2 | | 中村　篤　他 | 2-AL（303） | |
| 英語 | 25 | IS: Community | C2 | 1 | 前半 | バックウェル | 2-305 | 学期(前半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | C3 | 1 | 前半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | C4 | 1 | 前半 | 神原　ジュディス | 2-102 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | C2 | 1 | 前半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | C3 | 1 | 前半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | C4 | 1 | 前半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | C3 | 1 | 前半 | フォード | 2-205 | |
| 英語 | 25 | IS: Community | D2 | 1 | 後半 | バックウェル | 2-305 | 学期(後半)8回で完結 |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | D3 | 1 | 後半 | リン | 2-202 | |
| 英語 | 25 | IS: Social Justice | D4 | 1 | 後半 | 神原　ジュディス | 2-102 | |
| 英語 | 25 | IS: Life & Work | D2 | 1 | 後半 | ミュレール | 2-204 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | D3 | 1 | 後半 | サロンガ | 2-203 | |
| 英語 | 25 | IS: Health & Well-being | D4 | 1 | 後半 | ノガミ | 2-201 | |
| 英語 | 25 | IS: The Arts | D3 | 1 | 後半 | フォード | 2-205 | |

木曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | EM: World News | 84 | 2 | | 岡田　百合 | 2-302 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 83 | 2 | | カブレラ | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 84 | 2 | | スウィートラブ | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 82 | 2 | | グレッグ | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 82 | 2 | | 吉枝　恵 | 2-301 | |
| 基統計 | | 統計学Ｂ | | 2 | | 鈴木　善幸 | 2-209 | 経/人/理 |

木曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | EM: World News | 85 | 2 | | 真野　早苗 | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 85 | 2 | | 高橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 86 | 2 | | ハナ | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 83 | 2 | | 中平　里実 | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 83 | 2 | | 中山　麻衣子 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 84 | 2 | | ヒガ | 2-201 | |

木曜３・４限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基実験 | | 自然科学実験 | 20 | 1 | | 青柳　忍　　他 | 5-470 | 薬 |

木曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 英語 | 20 | EM: World News | 86 | 2 | | 真野　早苗 | 2-206 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 87 | 2 | | 高橋　妙子 | 2-103 | |
| 英語 | 20 | EM: Popular Culture | 88 | 2 | | ハナ | 2-205 | |
| 英語 | 20 | EM: Reading for Inspiration | 84 | 2 | | 中平　里実 | 2-104 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 85 | 2 | | 中山　麻衣子 | 2-102 | |
| 英語 | 20 | EM: Online Articles and Videos | 86 | 2 | | ヒガ | 2-201 | |

金曜１限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基数学 | | 数学Ａ２ | 31 | 2 | | 立木　寿人 | 2-401 | Ｅ１ |
| 基数学 | | 数学Ａ２ | 33 | 2 | | 森本　宏 | 2-405 | Ｅ３ |

金曜2限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 基数学 | | 数学Ａ２ | 32 | 2 | | 加納　成男 | 2-401 | Ｅ２ |
| 基数学 | | 数学Ａ２ | 34 | 2 | | 森本　宏 | 2-405 | Ｅ４ |

金曜3限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 140 | ワークライフバランスとダイバーシティ | | 2 | | 久保田　健市　　他 | 2-405 | |
| 共通特色 | 40 | ＥＳＤと地域の環境 | | 2 | | 松野　正太郎 | 2-AL（303） | |
| 共通現代 | 140 | 社会学Ｂ | | 2 | | 安藤　究 | 2-404 | |
| 共通現代 | 140 | 比較政治史 | | 2 | | 安武　裕和 | 2-403 | |
| 共通文化 | 140 | 日本文化の理解 | | 2 | | 石谷　佳穂 | 2-401 | |
| 共通自然 | 140 | 教養として知っておきたい様々な病気の実態 | 02 | 2 | | 酒々井　眞澄　　他 | 2-207 | |
| 共通自然 | 140 | 地球史入門 | 02 | 2 | | 井上　恵介 | 2-209 | |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ実技 | 47 | 1 | | 野中　壽子 | 2-301 | 保資格/幼免 |

金曜4限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 40 | 科学館・博物館・美術館から知る名古屋 | | 2 | | 髙石　鉄雄 | 2-AL（303） | |
| 共通文化 | 30 | 囲碁に学ぶ | | 2 | | 大澤　健朗 | 2-305 | |
| 共通文化 | 140 | アメリカ史入門 | 02 | 2 | | 柳澤　幾美 | 2-403 | |
| 共通文化 | 70 | 日本の宗教の歴史と文化 | | 2 | | 吉田　一彦 | 2-401 | |
| 共通人間 | 140 | 環境科学 | 02 | 2 | | 中島　寛則　　他 | 2-405 | |
| 共通人間 | 140 | くすりと社会 | | 2 | | 牧野　利明　　他 | 2-404 | |
| 共通人間 | 140 | リハビリテーション概論 | | 2 | | 野嶌　一平 | 2-207 | |
| 共通自然 | 50 | 宇宙のなりたち | | 2 | | 秦　和弘 | 2-402 | |
| 共通自然 | 140 | エネルギーのサイエンス | | 2 | | 櫻井　宣彦　　他 | 2-208 | |
| 他言語(*) | | 日本語ディスカッション２ | 50 | 2 | | 吉田　千寿子 | 2-102 | |
| 共通健ス | | 健康・スポーツ実技 | 48 | 1 | | 野中　壽子 | 2-301 | 中高免 |

金曜5限

| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通文化 | 140 | 心理学入門 | | 2 | | 久保田　健市 | 2-404 | |
| 共通自然 | 140 | バイオサイエンス入門 | | 2 | | 湯川　泰　　他 | 2-405 | |

時間割外　【後期】

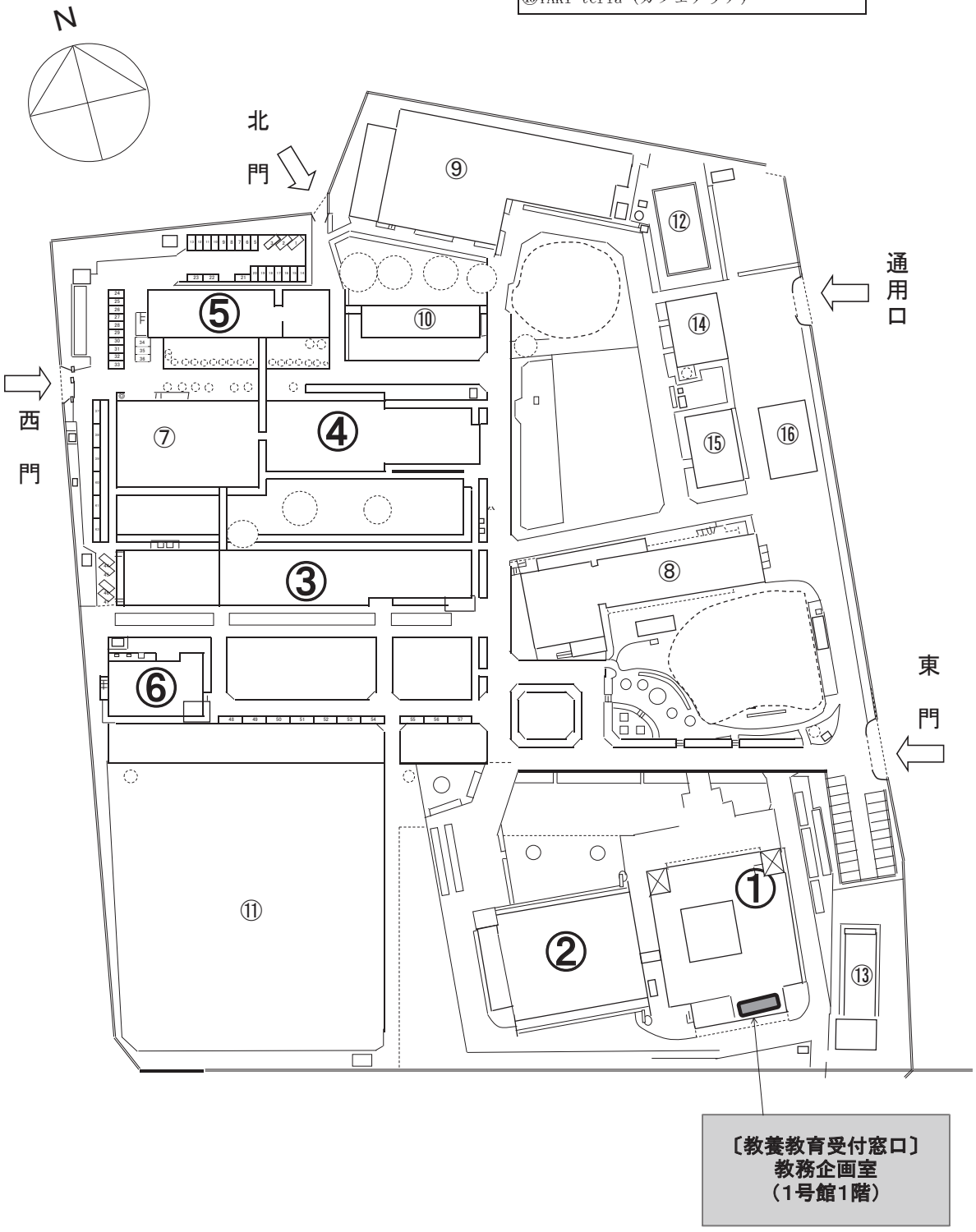
| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通情報 | | データサイエンス・リテラシー | | 1 | | 山本　祐輔　　他 | ＿＿ | |

集中講義　【後期】

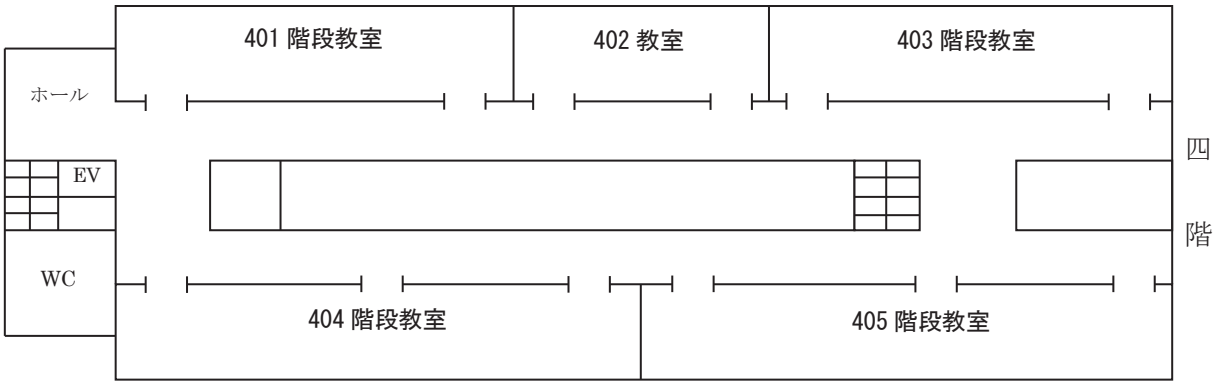
| 科目区分 | 抽選定員 | 科目名 | サブCD | 単位 | 開講時期 | 担当教員 | 講義室 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 共通特色 | 30 | 起業家になる | Z1 | 2 | | 鵜飼　宏成 | 2-AL（303） | |

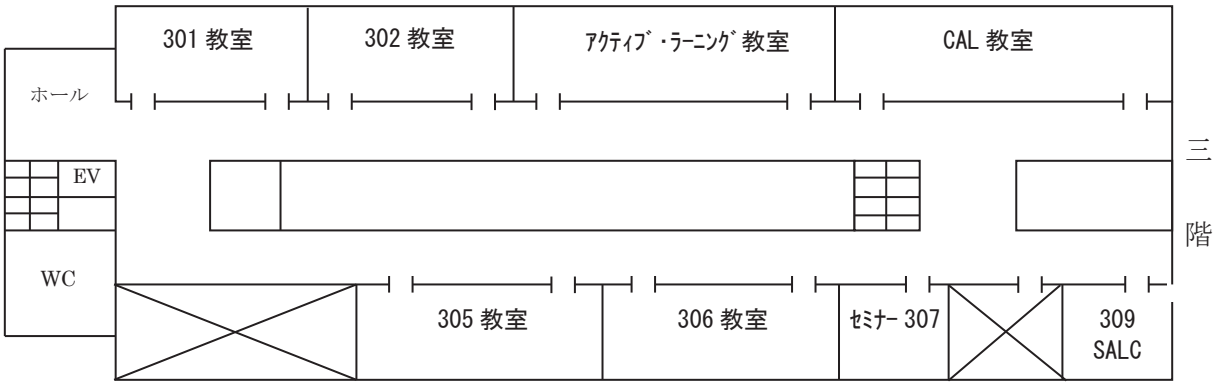
# 10　滝子（山の畑）キャンパス建物配置図

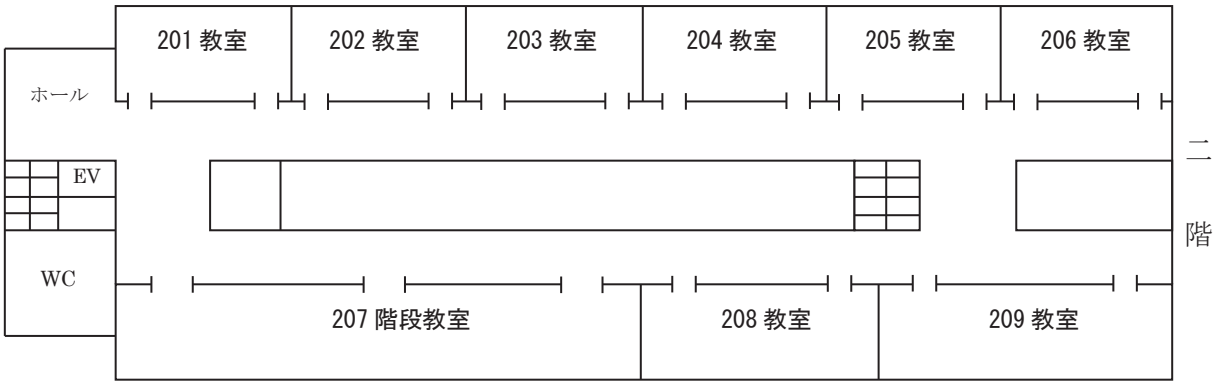
| | |
|---|---|
| ①１号館（人文社会学部・総合生命理学部） | ⑦図書館 |
| | ⑧学生会館（生協・食堂） |
| ②２号館（教養教育・保健管理センター） | ⑨体育館 |
| ③３号館（経済学部・データサイエンス学部・学生課・国際交流センター・キャリア支援センター） | ⑩トレーニングルーム |
| | ⑪テニスコート |
| ④４号館（総合生命理学部・データサイエンス学部） | ⑫プール |
| ⑤５号館（総合生命理学部） | ⑬弓道場 |
| | ⑭体育系クラブハウス |
| ⑥６号館（総合情報センター・データサイエンス学部） | ⑮文化系クラブハウス |
| | ⑯TAKI teria（カフェテリア） |

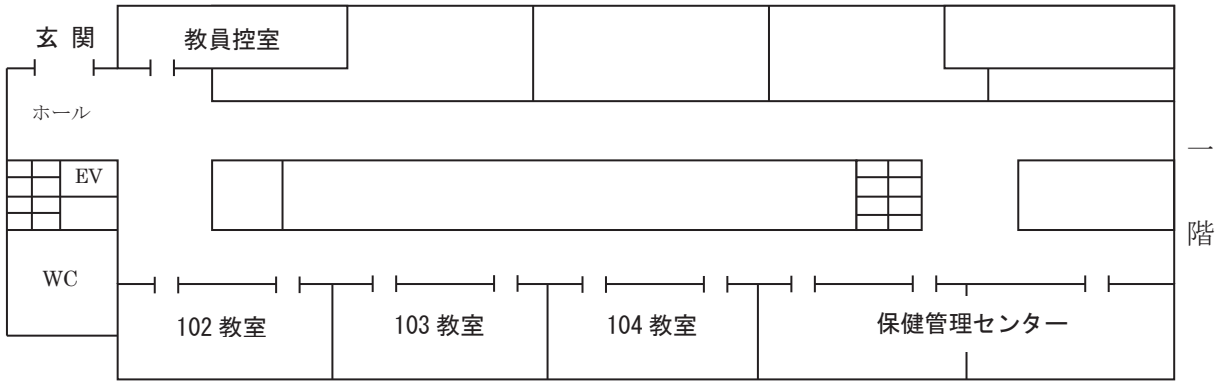


## 11　２号館（教養教育棟）教室配置図



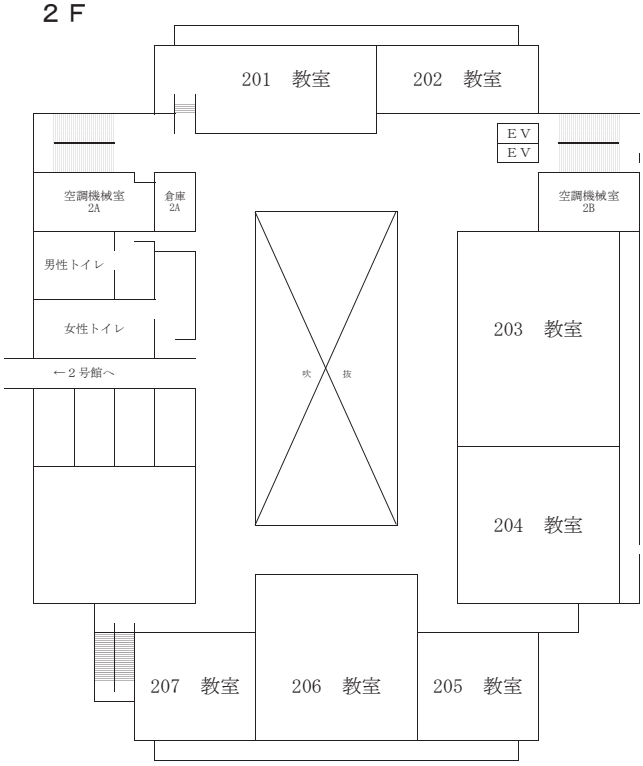



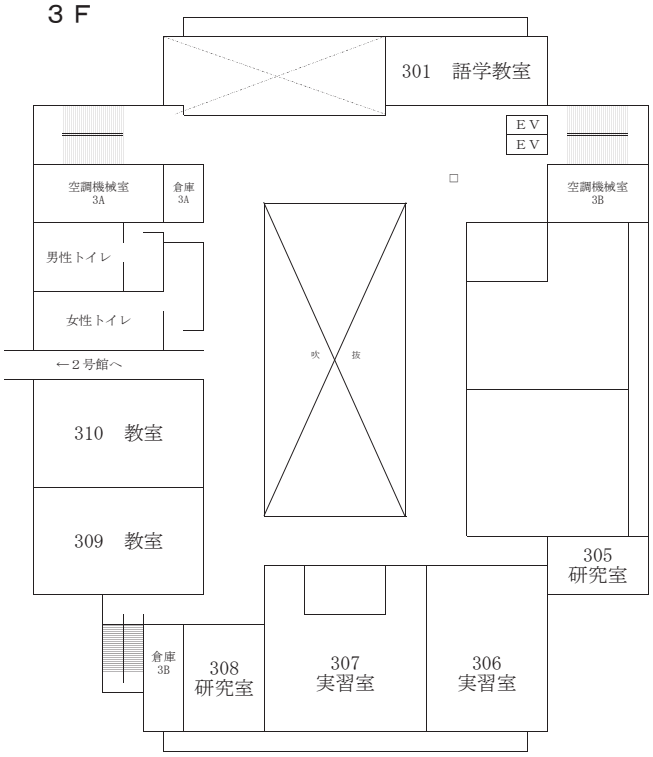



## １号館

### ２Ｆ



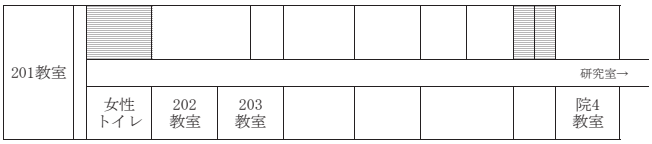

### ３Ｆ



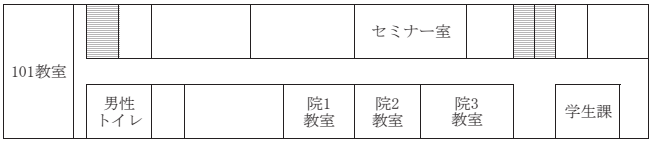

## 3号館

### ３Ｆ

### ２Ｆ

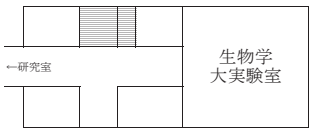



### １Ｆ

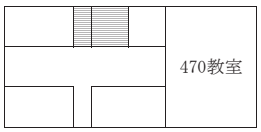



## 5号館

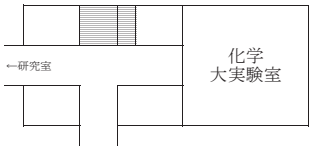
### ２Ｆ



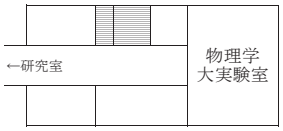

### ４Ｆ




### １Ｆ




### ３Ｆ



# 12　学務情報システム(Live Campus U)について

このシステムは、学生の皆さんが修学上必要な各種情報を取得し、各種申請を行うシステムです。以下には、学期開始直後に本システム上で登録が必要な項目を掲載しています。各項目の説明を読み、確実に登録を行ってください。

アクセスとログイン
≪接続先URL≫　　https://lcu.nagoya-cu.ac.jp/lcu-web/
※大学のホームページからもログインできます。
名古屋市立大学TOP ＞ 教育・学生生活 ＞ 教務案内・教養教育・専門教育 ＞ 学務情報システム
≪ログインID≫　　c（英小文字）＋　学籍番号
※教育用システムのパソコンにログインするときのものと同じです。
≪パスワード≫　教育用システムのパソコンにログインするときのものと同じです。

## 1.0 個人設定

**1　≪個人システム設定画面≫を開くと、個人設定のメンテナンスを行う画面が表示されます。**

**2　各設定を登録／更新する場合、「登録」ボタンをクリックします。**

ポイント
・登録したお気に入り画像はホーム画面に表示されます。

ポイント
・個人パラメータ「通知受信設定」は連絡通知機能に適用される設定となります。
※メール通知は学生情報で設定したメールアドレス１に送信されます。
※プッシュ通知を受け取るにはモバイルアプリのインストールが必要です。

ポイント
・個人パラメータ「ニックネーム」はコミュニケーション掲示板の自分の名前に適用される設定となります。

## 1.1 一般講義の履修登録方法

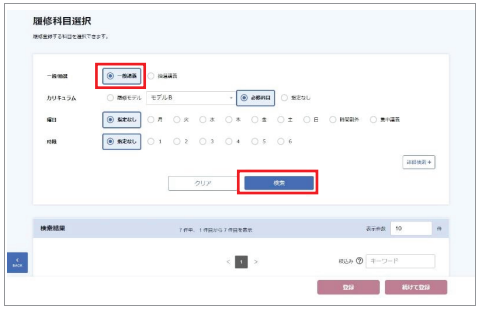
**1　履修登録期間になると、ホーム画面に通知バナーが表示されます。通知をクリックします。**

注意
・各学期の初回履修登録時には、学籍情報の変更がないかを確認する画面が表示されます。登録している情報に変更があった場合は、必ず修正してください。
・履修登録期間中は、システムの処理速度を向上させるため、ホーム画面の「重要なお知らせ」以外のコンテンツが非表示となります。
・履修登録期間中にホーム画面に非表示となるコンテンツへは、左上のメニューからアクセス可能です。

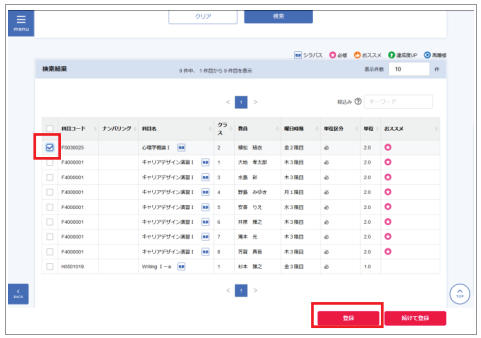
**2　≪履修登録画面≫が表示されます。「科目を検索して追加」ボタン、または＋ボタンをクリックします。**

ポイント
▶ **単位修得状況照会**
≪単位修得情報画面≫を表示し、要件区分ごとに単位修得の充足を確認できます。
▶ **カリキュラムマップ**
≪カリキュラムマップ画面≫を表示し、ポートフォリオ達成度および各目標に関連する科目を確認できます。

**3　≪履修科目選択画面≫が表示されます。条件に「一般講義」を選択し、その他必要に応じて曜日・時限などの条件を設定して「検索」ボタ ンをクリックします。**



**4** **検索結果の中から、履修登録を行いたい科目を選択し、「登録」ボタンをクリックします。**



ポイント

- 科目名をクリックすると科目の詳細画面が表示され、「シラバス参照」リンクよりシラバスを参照できます。
- 「続けて登録」ボタンをクリックすると、≪履修科目選択画面≫を閉じずに、続けて科目を検索・登録することができます。

**5** **「登録」ボタンをクリックすると、科目がコマに表示されます。**
**履修登録期間終了後、履修が確定した科目は背景色がグレーに変わります。**

ポイント

- 先着科目は、「登録」ボタンをクリックした時点で履修が確定します。
- 履修登録期間中であれば、いつでも履修登録科目の追加・修正は可能です。

**6** **履修登録期間中の登録した科目の取消は、履修登録画面から行います。**
**履修登録画面の登録した科目をクリックして、「削除」ボタンをクリックすると、登録した科目を削除することができます。**

注意

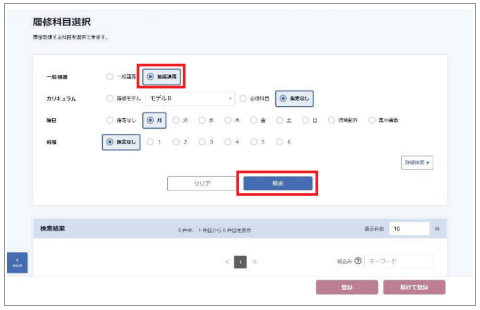
- 以下の場合、登録エラーとなり、履修登録できません。
  ※既に修得している科目については検索結果に表示されません。
  ただし、単位累積科目の場合は修得済の科目であっても再履修することができます。
  ① 登録しようとした開講科目の対象学年が自身の学年より大きい場合
  ② 登録しようとした開講科目の曜日時限にすでに履修登録されており、開講科目同士の開講期間が重複している場合
  または登録しようとした開講科目の曜日時限に既に履修登録されており、どちらかの開講期間が設定されていない場合
  ③ 登録しようとした科目が、既に（クラス違いにより）登録済であった場合
  ④ この開講科目を登録すると、半期履修制限値を超えてしまう場合
  ⑤ この開講科目を登録すると、年間履修制限値を超えてしまう場合
  ⑥ この科目を登録する際のカリキュラム履修条件を満たしていない場合
  1. この科目を登録する際の条件となる科目を修得している場合
  2. この科目を登録する際の条件となる科目を修得していない場合
  3. この科目を登録する際の条件となる科目を当年度に履修している場合
  4. この科目を登録する際の条件となる科目を当年度に履修していない場合
  ⑦ 登録しようとした開講科目の前後の時限に異なるキャンパス区分の開講科目が履修登録されている場合

- 対象の科目がペア科目の場合はペア対象候補科目が画面上に表示されます。ペアで履修する科目を選択して登録してください。

# 1.2 抽選講義の履修登録方法

**1** ≪履修登録画面≫を表示し、「科目を検索して追加」ボタン、または＋ボタンをクリックします。

**2** ≪履修科目選択画面≫が表示されます。条件に「抽選講義」を選択し、その他必要に応じて曜日・時限などの条件を設定して「検索」ボタ ンをクリックします。



**3** 検索結果の中から、履修登録を行いたい科目を選択し、「登録」ボタンをクリックします。同一コマに、2科目まで抽選科目を登録することが可能です。また１回の抽選でエントリーできるのは６コマまでです。

ポイント

・「続けて登録」ボタンをクリックすると、≪履修科目選択画面≫を閉じずに、続けて科目を検索・登録することができます。

**4** 登録した科目がコマに表示されます。抽選科目を登録している場合は、「抽選志望状況の確認」ボタンが表示されます。

ポイント

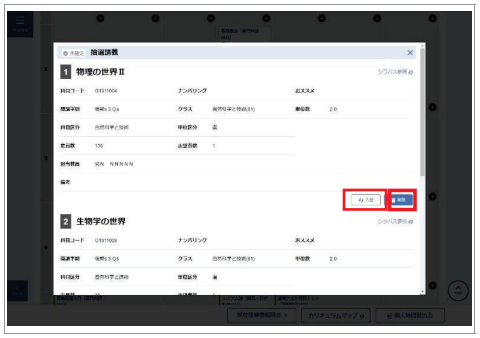
・抽選履修登録期間中であれば、いつでも抽選履修登録科目の追加・修正は可能です。

**5** 「抽選志望状況の確認」ボタンをクリックすると、≪抽選志望順位の確認画面≫が表示されます。同一コマに複数の抽選科目を登録している場合は、志望順位を選択し、「登録」ボタンをクリックします。

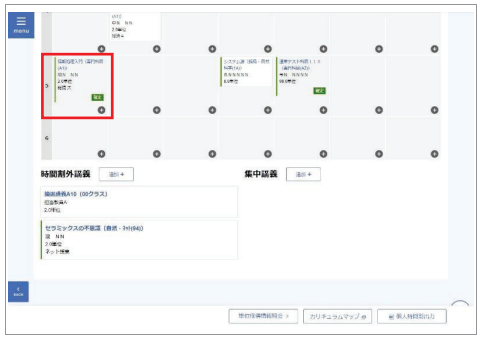
ポイント

・抽選履修登録期間中であれば、いつでも志望順位の変更が可能です。
・未設定時は、登録した順番が志望順として初期設定されています。
・履修登録期間中の登録した科目の取消は、「削除」ボタンをクリックすると、登録した科目を削除することができます。

**6** 抽選科目の詳細は、抽選科目をクリックすることでも確認可能です。
「入替」ボタンをクリックすると、志望順位を入れ替えることができます。
また、履修登録期間中の登録した科目の取消は「削除」ボタンをクリックすると、登録した科目を削除することができます。



7 抽選履修登録期間が終了し、抽選が行われると、当選した科目には「確定」と表示され背景色が白からグレーに変わります。




8 科目をクリックすると、「当選」と表示されます。

# 1.3 履修登録内容の確認（時間割の出力）

1 ≪履修登録画面≫にて、「個人時間割出力」ボタンをクリックすると、時間割の PDF ファイルを出力することが可能です。
履修登録内容の印刷は、履修申請を証明するものになります。必ず印刷し、保管するようにしてください。

# 個人別時間割表

| 学籍番号 |
|---|
| |

| 氏 名 | |
|---|---|
| 学部 | 学科　　年 |

| CAP制が適用となる科目の単位数合計 | |
|---|---|
| 前期 | 単位 |
| 後期 | 単位 |

※ 集中講義はCAP対象外

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 前期 | 1時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 2時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 3時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 4時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 5時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| 後期 | 1時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 2時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 3時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 4時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| | 5時限 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |
| 集中講義 | | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 | コード<br>講義名<br>教員名 |

| 備考 | ※「コード」は時間割上の講義名の後にサブコード（２桁の数字）が表示されている場合のみ記入してください。<br>〈例〉　ドイツ語初級１（11）　⇒　コード欄に「11」と記入 |
|---|---|